

消 防 年 報

令 和 元 年 版



【春】 フォリストパーク（軽米町）



【夏】 折爪岳のヒメボタル（九戸村）



【秋】 御所野縄文公園（一戸町）



【冬】 県立自然公園馬仙峡（二戸市）

令 和 2 年 刊 行



二戸地区広域行政事務組合消防本部

は し が き

この消防年報は、令和元年度中における二戸地区広域行政事務組合管内の消防業務及び消防諸般の状況を収録し、今後の消防行政運営上の参考に資するために編さんしたものであります。

また、消防事情を広く紹介し、消防行政に対する理解とご支援を賜りますとともに地域防災への指針として活用していただければ幸甚に存じます。

令和2年 10 月

二戸地区広域行政事務組合消防本部

目 次

概 要

1	二戸広域消防のあゆみ	1
2	二戸広域管内の概況	9
(1)	構成市町村の人口等	10
(2)	消防庁舎一覧表	10
3	組織	11
4	消防相互応援協定	12
(1)	消防相互応援協定に関する協定	12
(2)	東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定	12
(3)	八戸自動車道消防相互応援協定	12
(4)	救急医療情報システム運用に関する確認	12
(5)	岩手県防災ヘリコプター応援協定	12
5	歴代消防長	13
6	歴代消防署長	13
7	予防	14
(1)	防火対象物	14
(2)	建築同意	15
(3)	消防用設備等（特殊消防用設備等）	16
(4)	防火対象物定期点検報告制度	17
(5)	危険物施設	18・19
(6)	自主防災組織	20
8	警防	21
(1)	消防車両の配置状況	21
(2)	通信施設	21
(3)	消防水利	22
9	火災	23
(1)	出火件数	23・24
(2)	焼損面積及び損害額	24
(3)	死傷者	25
(4)	出火原因	25
10	救急	26
(1)	出場件数及び搬送人員	26
(2)	事故種別	27・28
(3)	八戸自動車道の救急	29
11	救助	30
(1)	出場件数及び救助人員	30
(2)	事故種別	31・32

□ 資料編

職員の現員数、研修、表彰の状況	33
令和元年度中の主要行事	34・35
消防職員の配置状況	36
階級別・年齢別職員数	37
在職年数別消防職員数	37
職員の資格取得状況	38
防火対象物の状況	39
署分署別建築同意状況	40
中高層建築物の用途別の状況	41
消防用設備等（特殊消防用設備）の設置届出状況	42
防火対象物定期点検報告制度の状況	43
危険物施設の状況	44
自主防災組織の状況	45
通信施設等の状況	46
消防車両等の現有状況	47・48
火災による損害状況・災害通報等受付件数	49
時間別・曜日別の発生状況	50
焼損面積 300 平方メートル以上の建物火災状況（過去 10 年間）	51
焼損面積 100 アール以上の林野火災状況（過去 10 年間）	52
年別救急出場状況	53
救急月別活動の状況	54
救急出場の曜日別の状況	54
救急搬送の年代別の状況	55
高速自動車道における救急活動状況	56
高速道における事故等の発生件数状況	57
救助年別活動状況（過去 10 年間）	58
署分署別救助活動状況	59
事故発生場所別救助状況	60
署分署別救助出場人員状況	61
署分署別救助活動人員状況	62

概 要



【浄法寺漆】

二戸市は、国産漆の約70%を生産している日本一の漆の産地です。浄法寺漆は生産量の多さだけでなく、良質な漆として知られ、世界遺産に登録されている中尊寺金色堂、日光東照宮をはじめ国宝、重要文化財などに使用されています。（二戸市観光協会 HP から抜粋）

1 二戸広域消防のあゆみ

年 月	記 事
昭和36年 4月	福岡町消防団常備部を設置する。
昭和40年 4月	一戸町消防団常備部を設置する。
昭和47年 4月	二戸市制施行に伴い、福岡町消防団常備部を二戸市消防団常備部とする。 消防ポンプ自動車（ニッサン）1台、救急車（トヨタ）ライオンズ号1台、指令車（トヨタ）1台の計3台を保有する。（部長以下10名） 一戸町消防団常備部、消防ポンプ自動車（トヨタ）1台、救急車（ニッサン）1台、連絡車（三菱）1台の計3台を所有する。（班長以下11名）
昭和47年12月	二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が始まる。
昭和48年 3月	二戸市消防署設置予定のため消防ポンプ自動車（ニッサン）2台を購入する。 二戸市消防本部及び二戸市消防署庁舎新築工事が完了する。 二戸市消防団常備部を廃止する。
昭和48年 4月	二戸市消防本部及び二戸市消防署を設置する。 消防職員8名増員、さきで購入した消防ポンプ自動車（ニッサン）2台を配置する。消防本部2名、消防署17名、計19名で発足する。 消防職員1名増員し計20名となる。
昭和48年 5月	消防職員1名増員し計21名となる。
昭和48年 6月	二戸市消防本部へ事務職員1名増員し計22名となる。 岩手県農業共済組合連合会より二戸消防署へ救急車（トヨタ）1台寄贈される。
昭和49年 3月	二戸市消防本部及び二戸消防署並びに一戸町消防団常備部を廃止する。
昭和49年 4月	広域行政の一環として、消防に関する事務を共同処理するため二戸市、一戸町、軽米町、浄法寺町及び九戸村の5市町村で二戸地区広域行政事務組合を設立する。職員定数条例を改正し、消防機関定数70名とする。消防本部2名、二戸消防署22名、一戸分署15名、軽米分署7名、浄法寺分署8名及び九戸分署5名の計59名で発足する。 初代消防長に二戸市助役中村善兵衛氏が兼務・就任。 二戸消防署に消防ポンプ自動車（ニッサン）2台、救急自動車（トヨタ）1台、指令車1台並びに一戸分署に消防ポンプ自動車（ニッサン）1台、救急自動車（トヨタ）1台、連絡車（三菱）1台を配置する。
昭和49年 8月	消防職員を4名採用する。（実員63名） 九戸分署庁舎新築工事が始まる。 浄法寺分署庁舎新築工事が始まる。
昭和49年10月	消防ポンプ自動車3台を購入し軽米分署、浄法寺分署及び九戸分署に各1台配置する。
昭和49年12月	司令車1台、連絡車1台購入し消防本部と九戸分署へ配置する。 浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。
昭和50年 1月	軽米分署車庫部分新築工事が始まる。 日本損害保険協会より救急自動車1台を寄贈され、軽米分署へ配置する。 九戸分署庁舎新築工事が完了する。

年 月	記 事
昭和50年 3月	消防職員1名採用し消防本部へ配属する。(実員64名) 軽米分署車庫部分完成する。
昭和50年 4月	第2代消防長に久保田喜一郎氏就任。 職員定数を条例改正し、消防機関定数79名とする。 消防職員10名採用し二戸消防署1名、軽米分署3名、浄法寺分署3名及び九戸分署3名配属する。(実員74名) 消防職員1名採用し二戸消防署へ配属する。(実員75名) 消防本部4名、二戸消防署23名、一戸分署15名、軽米分署11名、浄法寺分署11名、九戸分署11名配属する。
昭和50年 9月	岩手県農業共済組合連合会より救急自動車(トヨタ)2台を寄贈され、浄法寺分署、九戸分署へ各1台配置する。 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(トヨタ)1台を寄贈され、二戸消防署へ配置する。
昭和50年11月	軽米分署管理棟部分の新築工事が始まる。 連絡車1台を購入し浄法寺分署へ配置する。
昭和51年 3月	軽米分署管理棟部分の新築工事が完了する。
昭和51年11月	連絡車1台を購入し二戸消防署へ配置する。
昭和52年 5月	岩手県農業共済組合連合会より救急自動車1台を寄贈され、一戸分署へ更新配置する。
昭和52年 8月	連絡車(三菱)1台を購入し軽米分署へ配置する。
昭和53年 7月	二戸消防署簡易救助訓練施設が完成する。
昭和54年 4月	消防職員5名採用し二戸消防署3名、軽米分署2名配属する。(実員79名)
昭和54年 9月	軽米分署庁舎前舗装工事が完了する。
昭和54年11月	一戸分署庁舎新築工事が完了する。
昭和54年12月	職員定数を条例改正し、消防機関定数81名とする。
昭和55年11月	水槽付消防ポンプ自動車を購入し一戸分署へ配置する。
昭和56年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数85名とする。 消防職員4名採用し浄法寺分署2名、九戸分署2名配属する。(実員83名)
昭和56年 5月	連絡車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
昭和56年 9月	日本消防協会より救急自動車を寄贈され、二戸消防署へ更新配置する。
昭和57年 9月	消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
昭和58年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数88名とする。 消防職員を3名採用し一戸分署2名、軽米分署1名配属する。(実員86名)
昭和59年 4月	消防職員1名採用し軽米分署へ配属する。(実員87名)
昭和61年 3月	消防長久保田喜一郎氏退任する。
昭和61年 4月	第3代消防長に佐々木新一氏就任。
昭和61年12月	二戸地区空中消火等補給基地が完成する。
昭和62年 3月	日本消防協会より救急自動車1台を寄贈され、一戸分署へ更新配置する。
昭和62年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数90名とする。

年 月	記 事
昭和62年 4月	消防職員を2名採用し二戸消防署へ配属する。(実員89名)
昭和62年 8月	司令車1台を購入し消防本部へ配置する。
昭和62年10月	救急自動車1台を購入し軽米分署へ更新配置する。
昭和62年12月	消防用短波無線電話装置基地局を設置する。
昭和63年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数91名とする。 消防職員2名採用する。(実員91名)
昭和63年10月	救急自動車1台を購入し浄法寺分署へ更新配置する。
平成 元年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数92名とする。 消防職員1名採用する。(実員92名)
平成 元年 8月	日本消防協会より救急自動車1台を寄贈され、九戸分署へ更新配置する。
平成 元年10月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署へ配置する。
平成 2年 2月	4週6休体制を実施する。
平成 2年 4月	岩手県消防学校に教官として職員1名を派遣する。
平成 2年 7月	連絡車1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成 2年 9月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し軽米分署へ更新配置する。
平成 2年10月	日本損害保険協会より化学消防ポンプ自動車1台を寄贈され、二戸消防署へ配置する。
平成 2年12月	土曜閉庁実施する。
平成 3年 1月	山之内製薬株式会社より救急自動車1台を寄贈され、二戸消防署へ配置する。
平成 3年 3月	二戸消防署車庫増築工事が完了する。
平成 3年 6月	連絡車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成 3年10月	浄法寺分署車庫増築工事が完了する。
平成 3年11月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成 4年 3月	消防長に佐々木新一氏退任する。 岩手県消防学校教官としての1名の派遣を解く。
平成 4年 4月	第4代消防長に小川吉亮氏就任。
平成 4年 8月	連絡車1台を購入し軽米分署に更新配置する。
平成 4年 9月	司令車1台を購入し消防本部に更新配置する。 二戸消防署訓練施設を整備拡張する。
平成 4年11月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し浄法寺分署へ更新配置する。 公用車を二戸市から無償譲渡で消防本部に配置する。
平成 4年12月	一戸分署倉庫新築工事が完了する。
平成 5年 3月	安田生命保険相互会社より救急自動車1台を寄贈され、二戸消防署へ配置する。
平成 5年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数97名とする。 消防職員を5名採用する。(実員97名)
平成 5年 7月	日本防火協会より防火広報車(宝くじ号)1台を寄贈され、消防本部へ配置する。
平成 5年 9月	完全週休二日制を実施する。 連絡車1台を購入し浄法寺分署へ配置する。
平成 6年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数104名とする。

年 月	記 事
平成 6年 4月	消防職員を3名採用する。(実員100名)
平成 7年 4月	消防職員を2名採用する。(実員102名)
平成 7年11月	救急救命士免許取得者1名となる。
平成 8年 1月	消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。
平成 8年 3月	屈折はしご付消防自動車1台を購入し消防本部へ配置する。
平成 8年 4月	消防職員を2名採用する。(実員104名)
平成 8年 8月	岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。
平成 8年11月	消防本部の組織を機構改革し2課4係とする。
平成 8年12月	救急自動車2台を購入し軽米分署及び九戸分署へ各1台更新配置する。
平成 9年 4月	職員定数を条例改正し、消防機関定数115名とする。 消防職員を3名採用する。(実員107名)
平成 9年 5月	救急救命士免許取得者2名となる。
平成 9年12月	救急救命士免許取得者3名となる。 消防長小川吉亮氏退任する。
平成10年 1月	第5代消防長に佐々木正勝氏就任。
平成10年 2月	高規格救急自動車1台を購入し二戸消防署へ配置する。
平成10年 4月	消防職員3名採用する。(実員108名) 携帯電話からの119番通報運用開始する。
平成10年 6月	二戸地区空中消火等補給基地ヘリポートの舗装工事が完了する。
平成10年 8月	緊急通報システム運用開始する。
平成10年10月	救急救命士免許取得者4名となる。
平成11年 2月	救助工作車Ⅱ型1台を購入し消防本部へ配置する。
平成11年 3月	岩手県防災航空隊への職員1名の派遣を解く。
平成11年 4月	消防職員を4名採用する。(実員110名)
平成11年 5月	救急救命士免許取得者5名となる。
平成11年11月	救急救命士免許取得者6名となる。
平成12年 1月	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成12年 4月	消防職員を2名採用する。(実員112名) 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。
平成12年 5月	救急救命士免許取得者7名となる。 指揮車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。 連絡車1台を購入し九戸分署へ配置する。 資機材搬送車1台を購入し消防本部へ配置する。
平成13年 1月	消防ポンプ自動車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成13年 7月	中型バス1台を二戸市から無償譲渡で消防本部へ配置する。
平成13年 9月	高規格救急自動車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成13年10月	救急救命士免許取得者9名となる。
平成14年 4月	消防職員を2名採用する。(実員113名)

年 月	記 事
平成14年10月	救急救命士免許取得者11名となる。
平成14年12月	高規格救急自動車1台を購入し軽米分署へ更新配置する。
平成15年 3月	消防長佐々木正勝氏退任する。 岩手県防災航空隊への職員1名の派遣を解く。
平成15年 4月	消防職員を2名採用する。(実員112名) 第6代消防長に久保田孝男氏就任。
平成15年10月	救急救命士免許取得者12名となる。
平成15年12月	高規格救急自動車1台を購入し浄法寺分署へ更新配置する。
平成16年 4月	消防職員を3名採用する。(実員111名)
平成16年 8月	連絡車1台を購入し消防本部に更新配置する。
平成16年10月	消防大学校救助科第51期に1名入校する。
平成16年11月	救急救命士免許取得者14名となる。
平成16年12月	高規格救急自動車1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成17年 4月	救急救命士免許取得者15名となる。
平成17年 9月	消防大学校予防科第78期に1名入校する。
平成17年11月	救急救命士免許取得者16名となる。
平成18年 4月	消防職員を1名採用する。(実員110名) 救急救命士免許取得者17名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。
平成18年 6月	消防大学校火災調査科第11期に1名入校する。
平成19年 3月	司令車1台を購入し消防本部に更新配置する。
平成19年 4月	救急救命士免許取得者18名となる。
平成19年 6月	消防大学校警防科第81期に1名入校する。
平成19年10月	連絡車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成19年11月	高規格救急自動車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。
平成20年 3月	消防長久保田孝男氏退任する。
平成20年 4月	第7代消防長に木村貢氏就任。 消防職員2名採用する。(実員107名) 救急救命士免許取得者19名となる。
平成20年 8月	連絡車1台購入し軽米分署へ更新配置する。
平成21年 3月	消防長木村貢氏退任する。 岩手県防災航空隊への職員1名の派遣を解く。
平成21年 4月	消防本部及び消防署の組織を一部改正する。(2課5係、1署4係) 第8代消防長に田村利明氏就任。 消防職員4名採用する。(実員108名) 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。
平成21年 8月	連絡車1台購入し浄法寺分署へ更新配置する。
平成21年 9月	救急救命東京研修所に1名入所する。

年 月	記 事
平成21年11月	平成21年度岩手県総合防災訓練を実施する。
平成22年 4月	消防職員4名採用する。(実員109名)
平成22年 5月	救急救命士取得者20名となる。
平成22年10月	消防大学校幹部科23期に1名入校する。 救急救命士薬剤投与講習(秋田県消防学校)に1名入校する。
平成23年 3月	消防長田村利明氏退任する。 岩手県防災航空隊への職員1名の派遣を解く。
平成23年 4月	第9代消防長に山田武實氏就任。 消防職員6名採用する。(実員109名) 救急救命士免許取得者21名となる。
平成23年 9月	救急救命東京研修所に1名入所する。
平成24年 3月	消防長山田武實氏退任する。
平成24年 4月	第10代消防長に目時栄氏就任。 消防職員6名採用する。(実員112名) 岩手県消防学校に教官として職員1名を派遣する。 救急救命東京研修所に1名入所する。 救急救命士免許取得者22名となる。
平成24年 7月	救急救命士薬剤投与講習(九州研修所)に1名入所する。
平成24年12月	消防本部併設二戸消防署建設基本設計業務を委託契約する。 広報車1台を購入し消防本部へ配置する。
平成25年 3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。 消防本部併設二戸消防署建設基本設計業務が完了する。
平成25年 4月	消防職員7名採用する。(実員112名) 救急救命東京研修所に1名入所する。 救急救命士免許取得者23名となる。 救急救命士薬剤投与講習(九州研修所)に1名入所する。 二戸消防署浄法寺分署建設設計業務を委託契約する。
平成25年 5月	救急救命士薬剤投与講習(九州研修所)に2名入所する。
平成25年 6月	消防本部併設二戸消防署建設実施設計業務を委託契約する。
平成25年 7月	救急救命士薬剤投与講習(九州研修所)に1名入所する。 二戸消防署浄法寺分署建設設計業務が完了する。
平成25年10月	消防大学校火災調査科第26期に1名入校する。
平成25年11月	二戸消防署軽米分署建設設計業務を委託契約する。 二戸消防署浄法寺分署新築工事が始まる。 水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し軽米分署へ更新配置する。 高規格救急自動車1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
平成25年12月	救助工作車(Ⅱ型)1台を購入し消防本部へ更新配置する。
平成26年 3月	岩手県消防学校教官としての1名の派遣を解く。

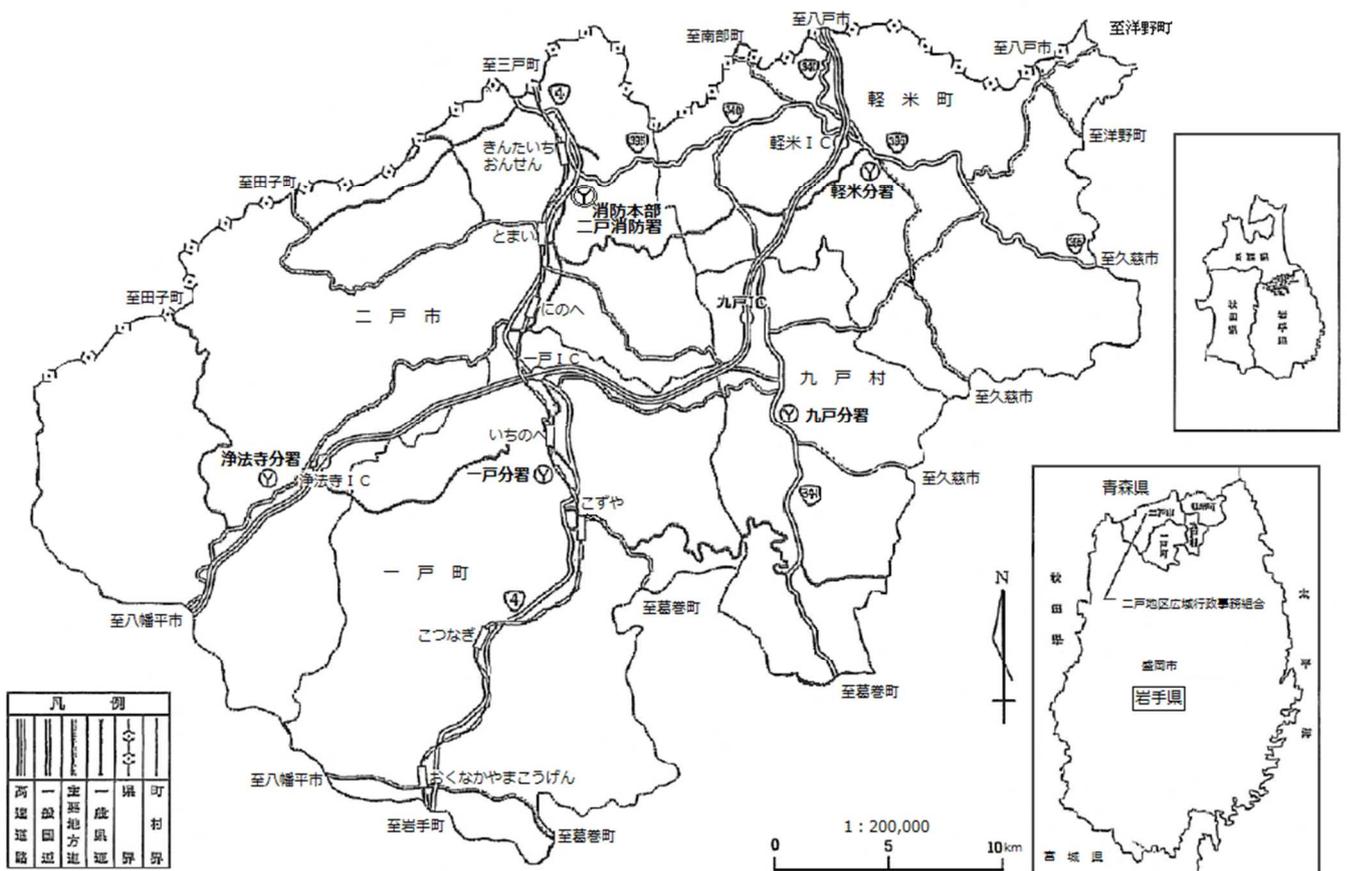
年 月	記 事
平成26年 3月	消防本部併設二戸消防署建設実施設計業務が完了する。 二戸消防署軽米分署建設設計業務が完了する。
平成26年 4月	消防職員7名採用する。(実員114名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者24名となる。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。
平成26年 5月	二戸消防署浄法寺分署庁舎新築工事が完了する。 指導救命士養成研修(九州研修所第1期)に1名入所する。
平成26年 6月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が始まる。 二戸消防署軽米分署庁舎新築工事が始まる。
平成26年 7月	指導救命士養成研修(九州研修所第2期)に1名入所する。
平成26年10月	二戸消防署浄法寺分署旧庁舎解体工事が始まる。 消防大学校火災調査科第28期に1名入校する。
平成27年 1月	消防大学校予防科第97期に1名入校する。 高規格救急自動車1台を購入し浄法寺分署へ更新配置する。
平成27年 2月	二戸消防署軽米分署庁舎新築工事が完了する。
平成27年 3月	二戸消防署浄法寺分署旧庁舎解体工事が完了する。 消防本部及び消防署の組織を一部改正する。(2課6係・1署4係)
平成27年 4月	消防職員1名採用する。(実員114名) 救急救命士免許取得者26名となる。 消防大学校救助科第71期に1名入校する。
平成27年 5月	救急救命士処置拡大2項目講習(東京研修所)に2名入所する。
平成27年 6月	救急救命士処置拡大2項目講習(東京研修所)に2名入所する。
平成27年 8月	救急救命士処置拡大2項目講習(岩手医大)に2名入校する。
平成27年 9月	救急救命東京研修所に1名入所する。 消防大学校救急科第77期に1名入校する。
平成27年10月	消防本部併設二戸消防署庁舎新築工事が完了する。 救急救命士処置拡大2項目講習(岩手医大)に1名入校する。
平成27年11月	消防本部併設二戸消防署新庁舎で業務を開始する。 高機能指令センターと消防救急デジタル無線の運用を開始する。
平成28年 2月	高規格救急自動車1台を購入し軽米分署へ更新配置する。
平成28年 3月	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成28年 4月	消防職員8名採用する。(実員115名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者28名となる。
平成28年 5月	二戸消防署旧庁舎解体工事が始まる。
平成28年 6月	救急救命士処置拡大2項目講習(九州研修所)に1名入所する。
平成28年 8月	救急救命士処置拡大2項目講習(岩手医大)に1名入校する。

年 月	記 事
平成28年 8月	救急救命士処置拡大2項目講習(九州研修所)に1名入所する。
平成28年 9月	二戸消防署旧庁舎解体工事が完了する。
平成28年10月	高規格救急自動車1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成28年12月	水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し浄法寺分署へ更新配置する。
平成29年 3月	岩手県防災航空隊への職員1名の派遣を解く。
平成29年 4月	消防職員2名採用する。(実員115名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者29名となる。 救急救命士処置拡大2項目講習(九州研修所)に2名入所する。
平成29年 8月	救急救命士処置拡大2項目講習(九州研修所)に2名入所する。
平成29年10月	高規格救急自動車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。
平成29年11月	広報車1台を購入し九戸分署へ更新配置する。
平成30年 3月	消防ポンプ付大型水槽車を1台新規購入し消防本部へ配置する。 消防長目時栄氏退任する。
平成30年 4月	第11代消防長に田中長治氏就任。 岩手県防災航空隊に職員1名を派遣する。 消防職員2名採用する。(実員115名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者32名となる。
平成30年10月	消防大学校火災調査科第36期に1名入校する。
平成31年 2月	消防ポンプ自動車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。
平成31年 4月	消防職員1名採用する。(実員115名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者34名となる。
令和 元年 5月	消防大学校自主防災育成コースに1名入校する。
令和 元年 6月	指導救命士養成研修(九州研修所)に1名入所する。 連絡車1台を購入し消防本部へ更新配置する。
令和 元年 9月	広報車1台を購入し二戸消防署へ更新配置する。
令和 元年12月	水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型)1台を購入し一戸分署へ更新配置する。
令和 2年 3月	消防長田中長治氏退任する。
令和 2年 4月	第12代消防長に長興寺一弘就任。 消防職員4名採用する。(定数115名、実員115名) 救急救命東京研修所に2名入所する。 救急救命士免許取得者36名となる。 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令
令和 2年 7月	第1回消防技術訓練を実施する。
令和 2年 8月	二戸消防署九戸分署建設工事実施設計業務を委託契約する。
令和 2年 9月	長興寺一弘が救急功労者表彰(消防庁長官表彰)を受賞する。

2 二戸広域管内の概況

二戸地区広域行政事務組合消防本部の管内は、二戸市、一戸町、
軽米町、及び九戸村の1市2町1村で構成されています。

(平成18年1月1日 二戸市、浄法寺町合併)



(1) 構成市町村の人口等

令和2年4月1日現在

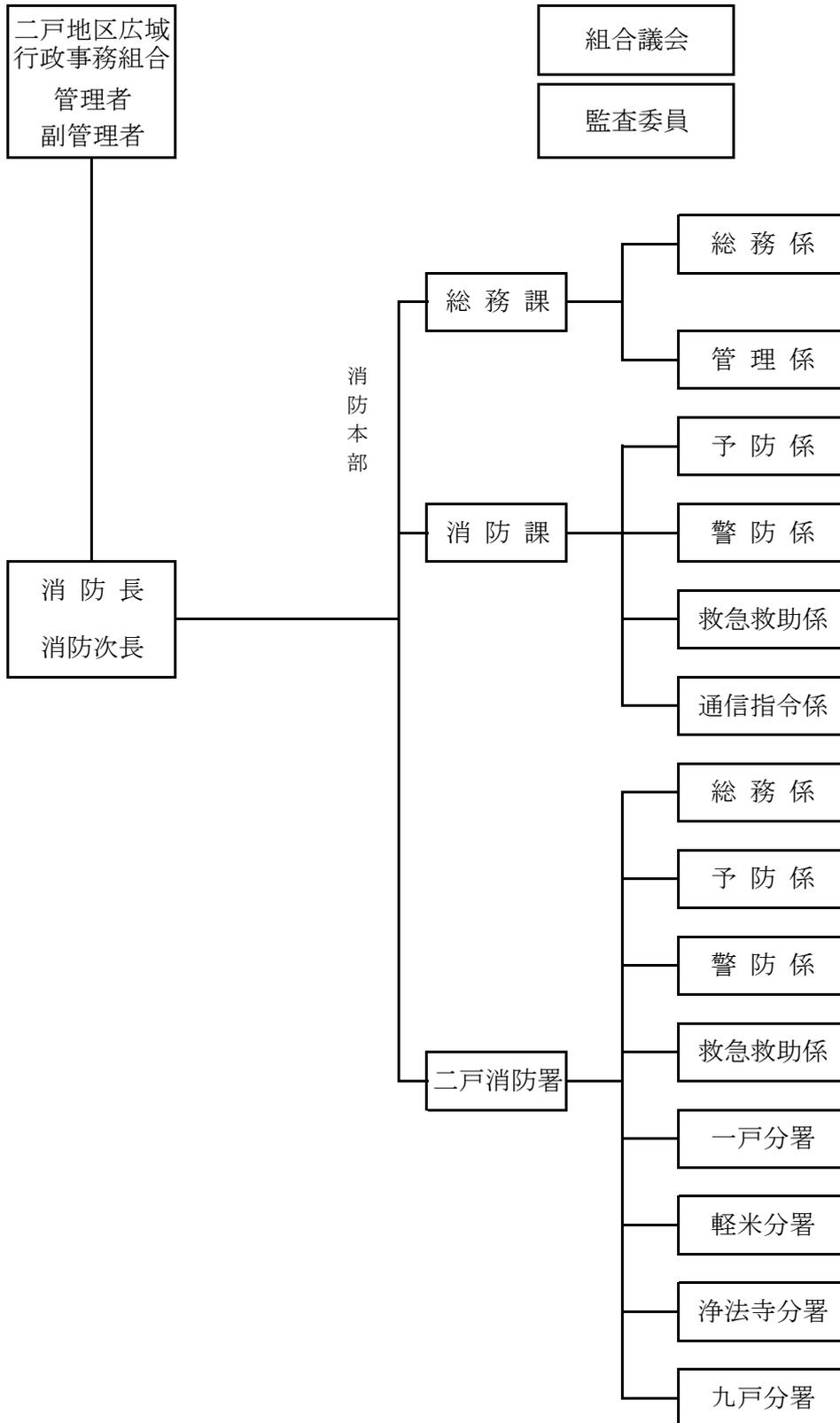
区分 市町村名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口密度 (人口/面積)
計	52,806	23,289	1,100.29	47.99
二戸市	26,344	11,803	420.42	62.66
一戸町	11,899	5,541	300.03	39.66
軽米町	8,895	3,769	245.82	36.19
九戸村	5,668	2,176	134.02	42.29

(2) 消防庁舎一覧表

区分	所在地	構造・階数	敷地面積	建築面積	竣工年月日
				延面積	
消防本部 二戸消防署	〒028-5711 二戸市金田一字上田面300番地2 TEL 0195-26-8111	R C 造 2 階 建	9,211.470m ²	1,508.48m ²	H27. 7新築
				2,402.48m ²	
一戸分署	〒028-5301 一戸町西法寺字関屋157番地1 TEL 0195-33-3119	R C 造 2 階 建	1,730.085m ²	359.47m ²	S54.11新築
				662.66m ²	
軽米分署	〒028-6302 軽米町大字軽米第3地割74番地1 TEL 0195-46-4119	R C 造 1 階 建	1,773.700m ²	542.09m ²	H27. 3新築
				502.12m ²	
浄法寺分署	〒028-6854 二戸市浄法寺町下前田28番地2 TEL 0195-38-4119	鉄骨造 2 階 建	522.668m ²	331.65m ²	H26. 5新築
				494.98m ²	
九戸分署	〒028-6502 九戸村大字伊保内第10地割11番地6 TEL 0195-42-3119	R C 造 2 階 建	994.530m ²	162.00m ²	S50. 1新築
				363.50m ²	

3 組 織

二戸地区広域行政事務組合消防本部・消防署の組織



4 消防相互応援協定

(1) 消防相互応援協定に関する協定

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合 奥州金ヶ崎行政事務組合 一関市消防本部 大船渡地区消防組合 遠野市消防本部 宮古地区広域行政組合 花巻市消防本部 釜石大槌地区行政事務組合 久慈広域連合 陸前高田市消防本部 北上地区消防組合	締結改正 締結 平成13年5月1日 全部改正 平成19年4月1日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 平成11年4月1日

(2) 東北自動車道及び八戸自動車道消防相互応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
盛岡地区広域消防組合	締結 昭和52年11月19日
奥州金ヶ崎行政事務組合	変更 昭和54年10月13日
一関市消防本部	変更 平成元年9月7日
花巻市消防本部	
北上地区消防組合	

(3) 八戸自動車道消防相互応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合	締結 昭和61年11月27日

(4) 救急医療情報システム運用に関する確認

確認団体名	締結年月日
八戸地域広域市町村圏事務組合 久慈広域連合	締結 平成元年12月8日

(5) 岩手県防災ヘリコプター応援協定

応援協定締結団体名	締結年月日
岩手県 岩手県県内各市町村 岩手県内各消防本部	締結 平成8年10月1日

5 歴代消防長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	中村 善兵衛	S49. 4. 1	S50. 3. 31	二戸市助役兼務
2代	久保田 喜一郎	S50. 4. 1	S61. 3. 31	二戸市派遣
3代	佐々木 新一	S61. 4. 1	H 4. 3. 31	〃
4代	小川 吉亮	H 4. 4. 1	H 9. 12. 31	〃
5代	佐々木 正勝	H10. 4. 1	H15. 3. 31	〃
6代	久保田 孝男	H15. 4. 1	H20. 3. 31	〃
7代	木村 貢	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
8代	田村 利明	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
9代	山田 武實	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	目時 栄	H24. 4. 1	H30. 3. 31	二戸市派遣
11代	田中 長治	H30. 4. 1	R 2. 3. 31	
12代	長興寺 一弘	R 2. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合消防本部発足

6 歴代消防署長

区分	氏名	就任	退任	備考
初代	久保田 喜一郎	S49. 4. 1	S61. 3. 31	消防長兼務
2代	佐々木 新一	S61. 4. 1	S62. 3. 31	消防長兼務
3代	小川 吉亮	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	消防次長兼務
4代	吉田 平悦	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
5代	小川 吉亮	H 8. 4. 1	H 8. 10. 31	消防長、消防次長兼務
6代	東山 佐久三	H 8. 11. 1	H10. 3. 31	
7代	江六前 実	H10. 4. 1	H14. 3. 31	
8代	荒澤 作郎	H14. 4. 1	H18. 3. 31	
9代	橋本 信孝	H18. 4. 1	H19. 3. 31	
10代	田村 利明	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
11代	泉山 義夫	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	山田 武實	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
13代	中村 英明	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
14代	角田 勇吉	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
15代	佐々木 良雄	H26. 4. 1	H28. 3. 31	
16代	横浜 貞則	H28. 4. 1	H29. 3. 31	
17代	林 健一	H29. 4. 1	R 2. 3. 31	
18代	日山 智嘉雄	R 2. 4. 1	在職中	

※ 昭和49年4月 二戸地区広域行政事務組合二戸消防署発足

7 予 防

(1) 防火対象物

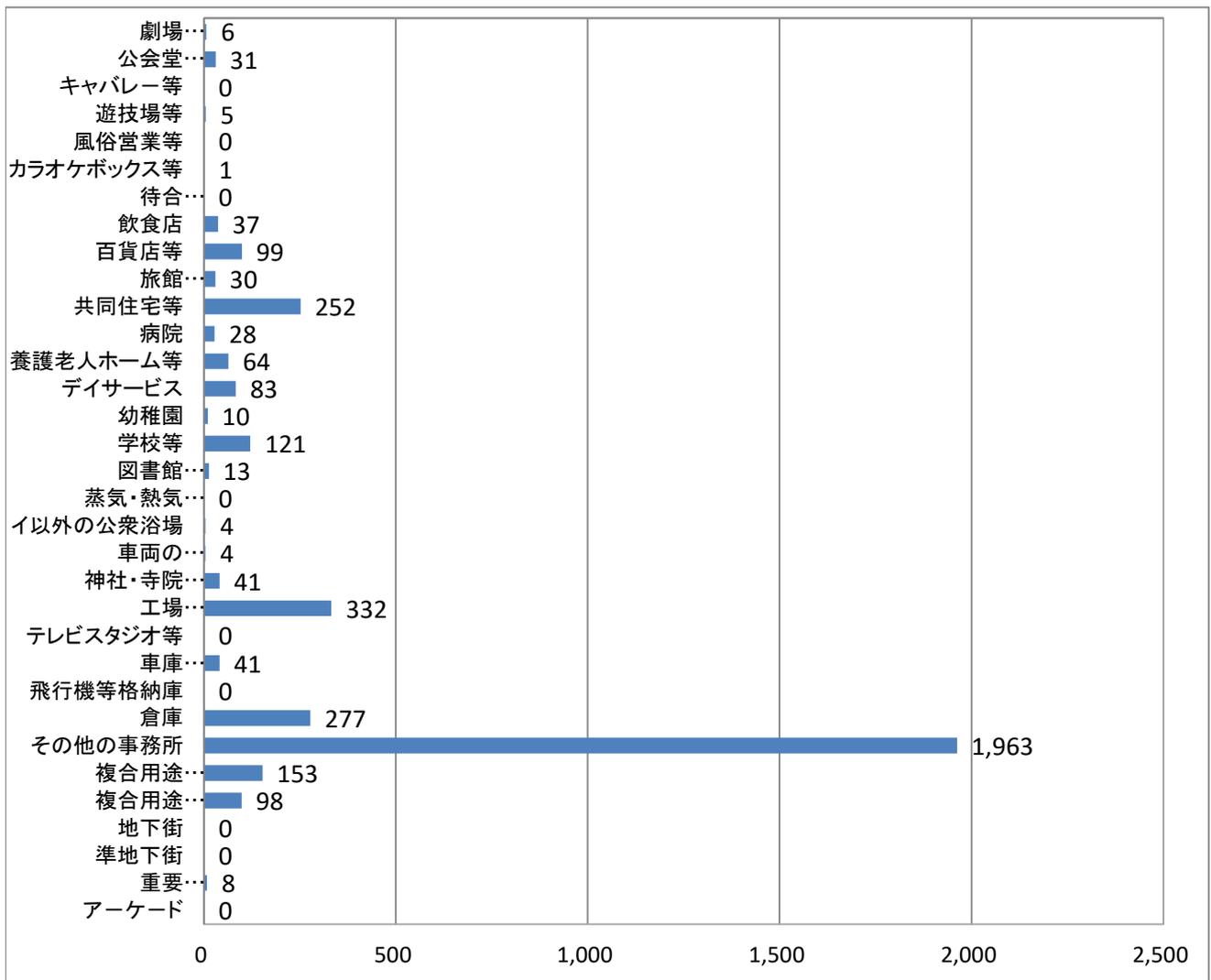
学校、病院、工場、事業場、百貨店、旅館、ホテル等の防火対象物は、3,701件であり、前年度に比べ57件の増加となっています。

市町村別の防火対象物数は、次のとおりです。

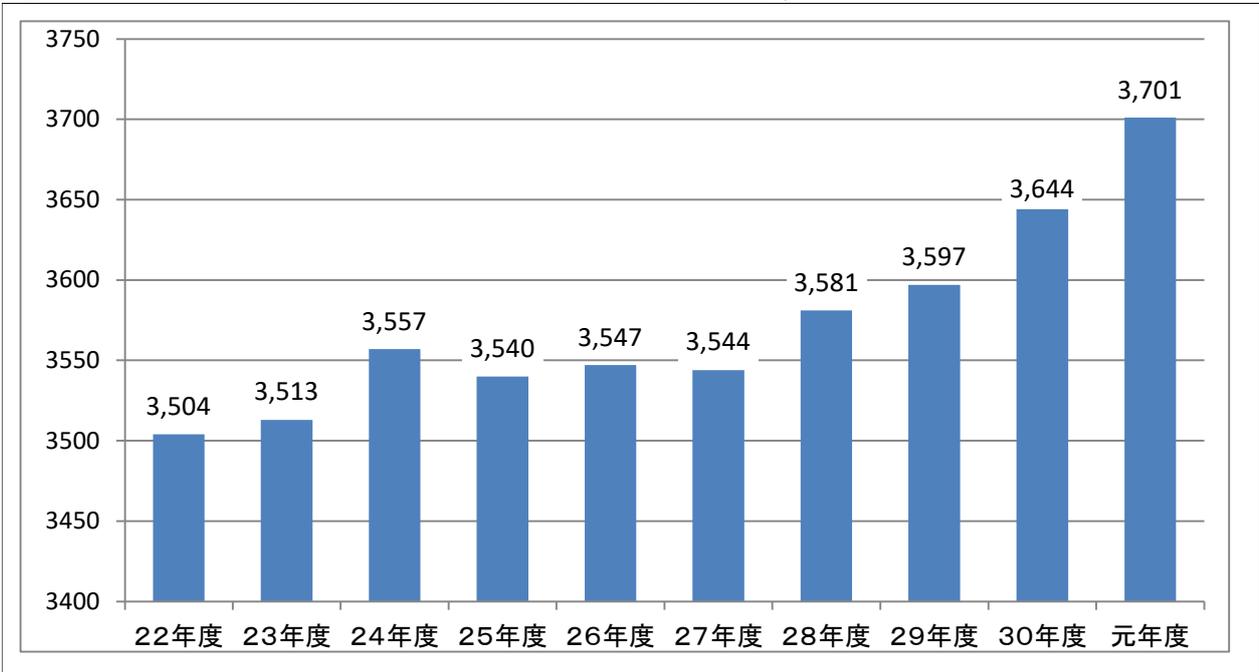
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
元年度	1,417	837	708	739	3,701
30年度	1,392	796	733	723	3,644
増減	25	41	△ 25	16	57

防火対象物の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の防火対象物数の推移は、次のとおりです。



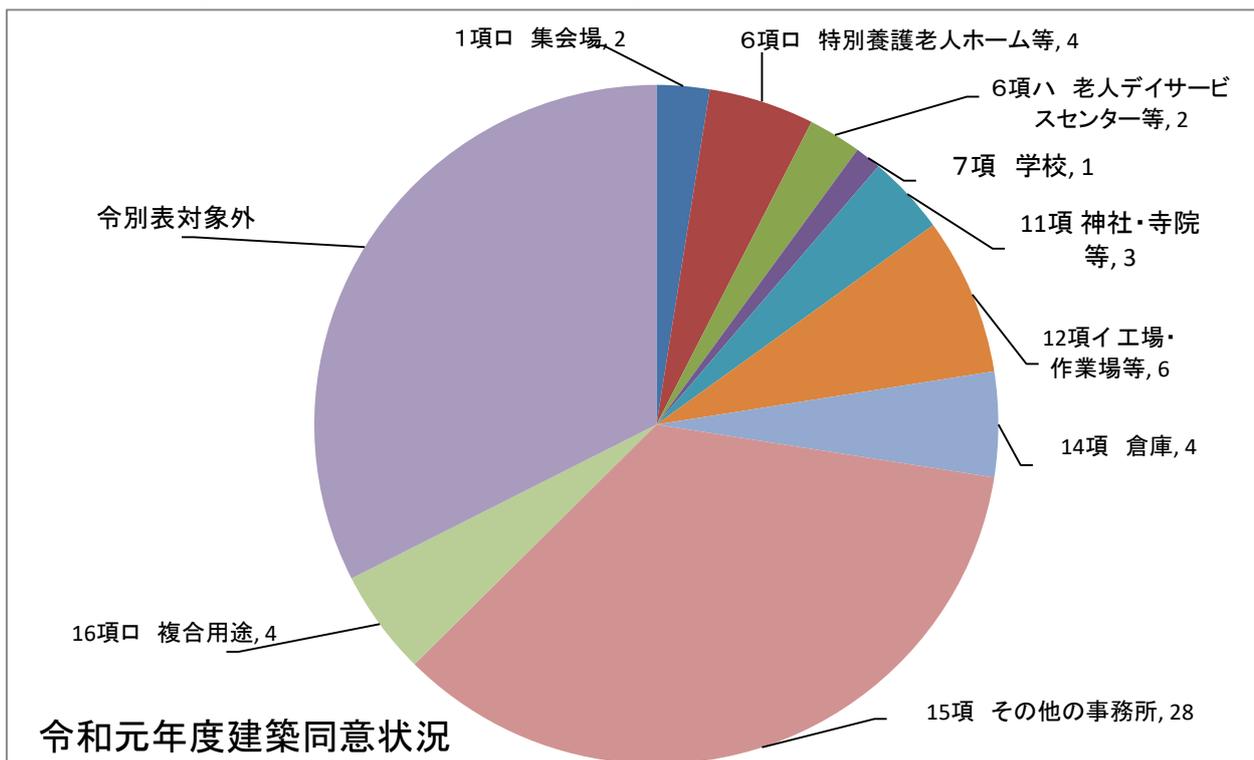
(2) 建築同意

新築、増築、改築等の建築同意件数は80件であり、前年度より32件の増加となっています。

市町村別の建築同意件数は、次のとおりです。

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
元年度	27	24	20	9	80
30年度	17	11	5	15	48
増減	10	13	15	△8	32

建築同意事務の状況は、次のとおりです。



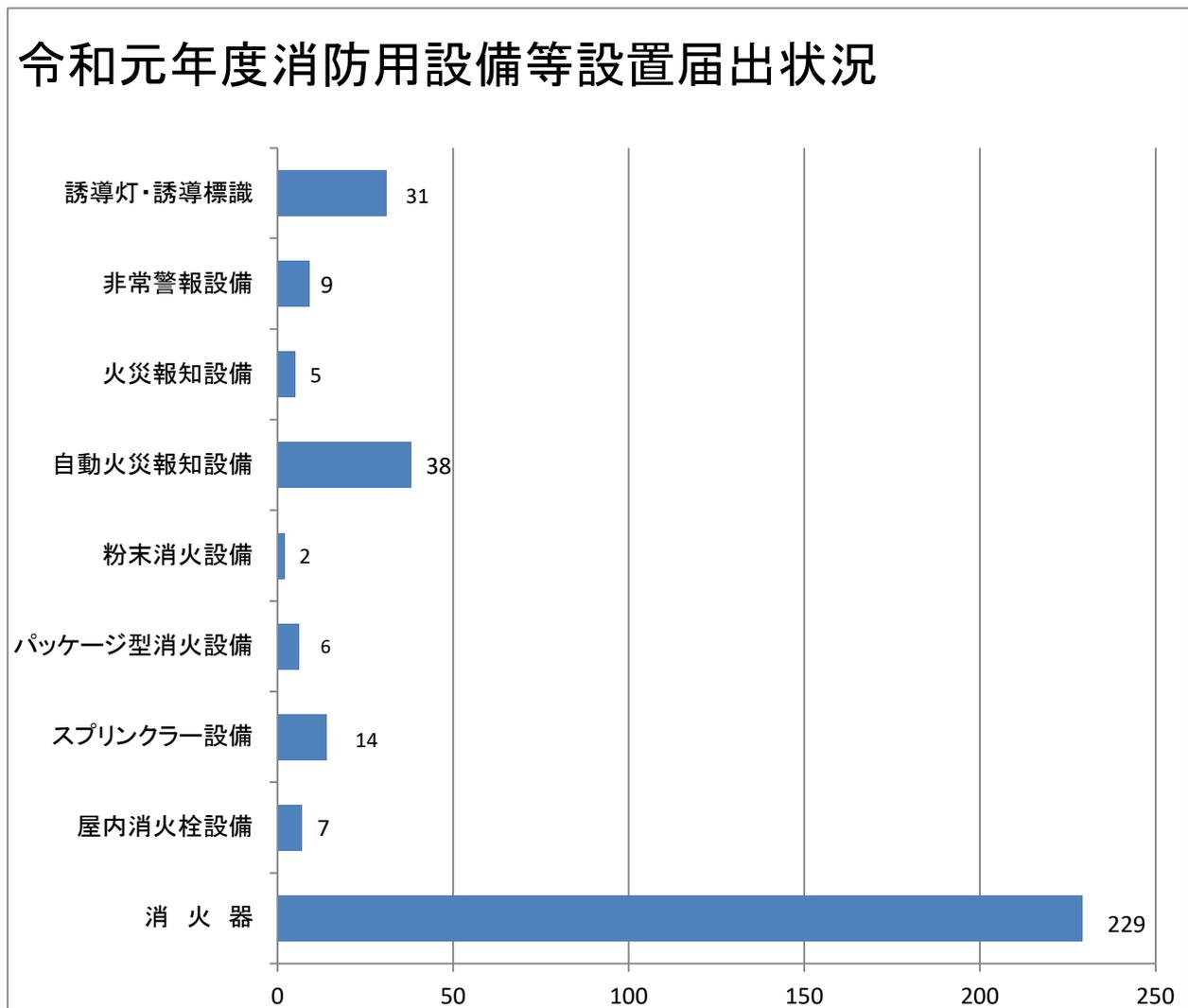
(3) 消防用設備等(特殊消防設備等)

屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備、避難器具等の消防用設備等の着工届出数は、52件であり、前年度に比べ9件減少しています。

また、設置届出は、341件であり、前年度に比べ126件増加しています。
消防用設備等別の届出数は、次のとおりです。

区 分	消防の用に供する設備						消防用水		消火活動上必要な設備		合 計	
	消火設備		警報設備		避難設備							
	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置	着工	設置
元年度	21	258	30	52	1	31	0	0	0	0	52	341
30年度	9	115	52	67	0	33	0	0	0	0	61	215
増 減	12	143	△ 22	△ 15	1	△ 2	0	0	0	0	△ 9	126

消防用設備等の設置届出の内訳は、次のとおりです。



(4) 防火対象物定期点検報告制度

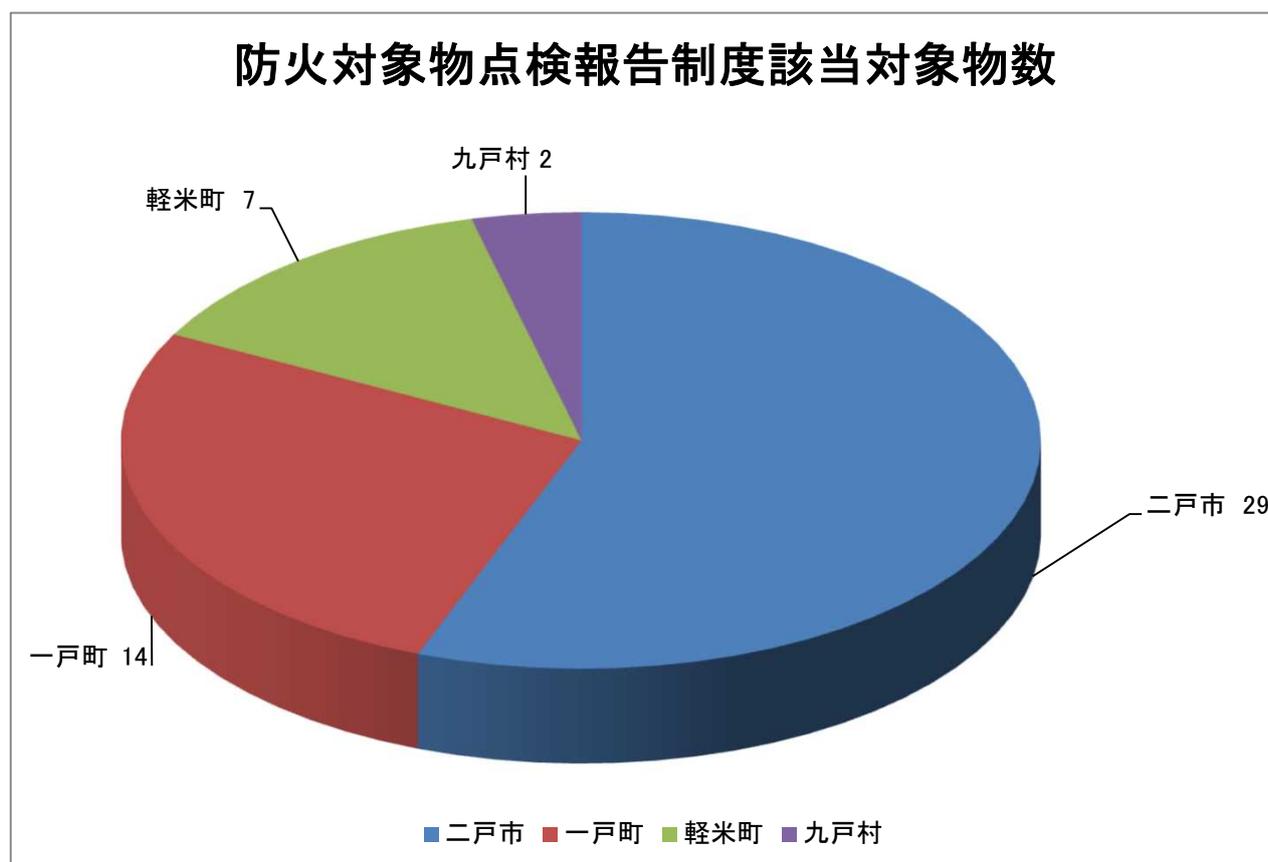
防火対象物定期点検報告制度に該当する防火対象物数は、52件であり、前年度に比べ3件減少しています。

市町村別の防火対象物点検報告制度に該当する防火対象物数は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村
元年度	29	14	7	2
30年度	34	12	7	2
増減	△ 5	2	0	0

防火対象物定期点検制度に該当する防火対象物数の内訳は、次のとおりです。



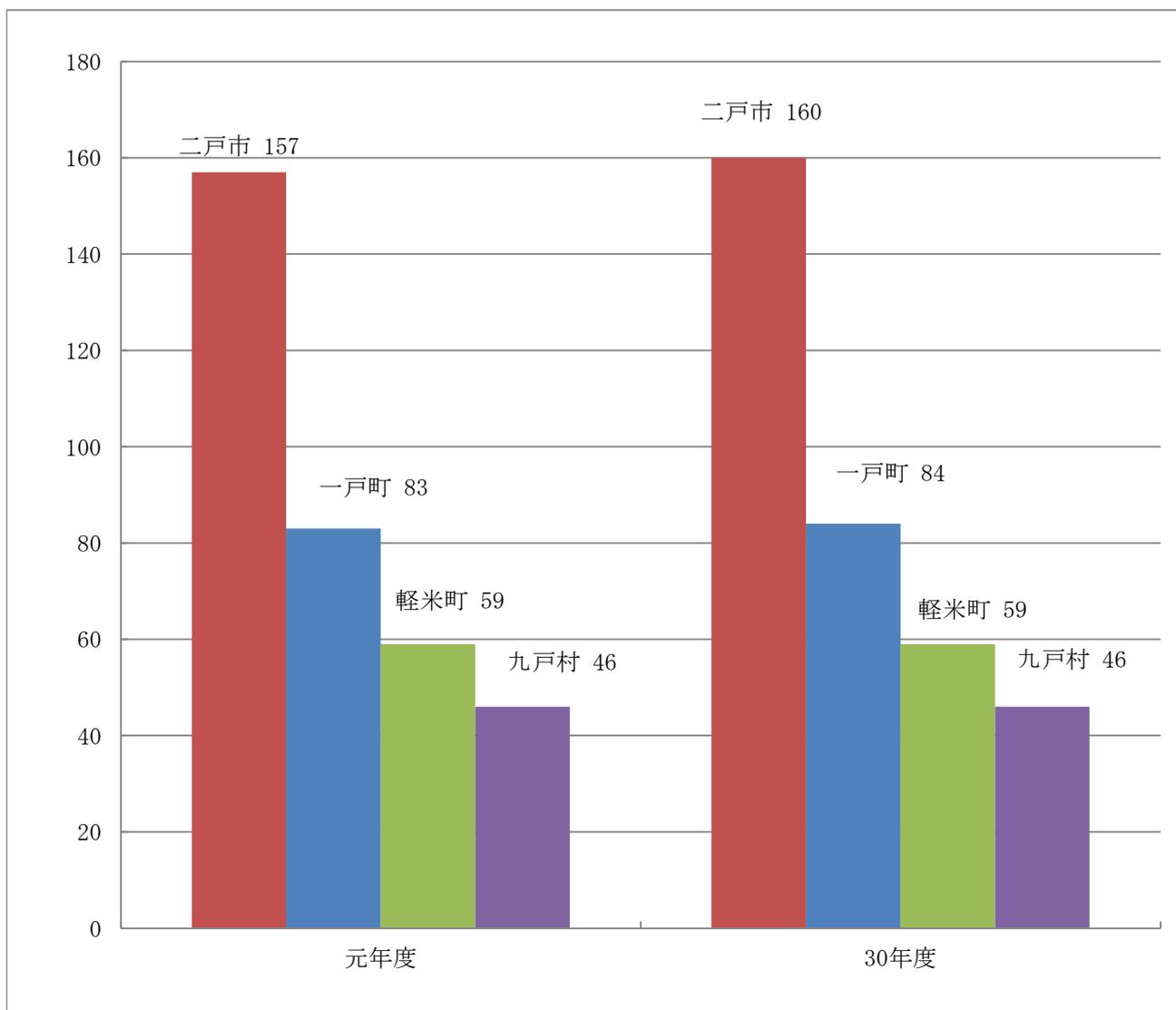
(5) 危険物施設

給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所等の危険物施設数は345施設であり、前年度に比べて4施設減少しています。
市町村別の危険物施設数は、次のとおりです。

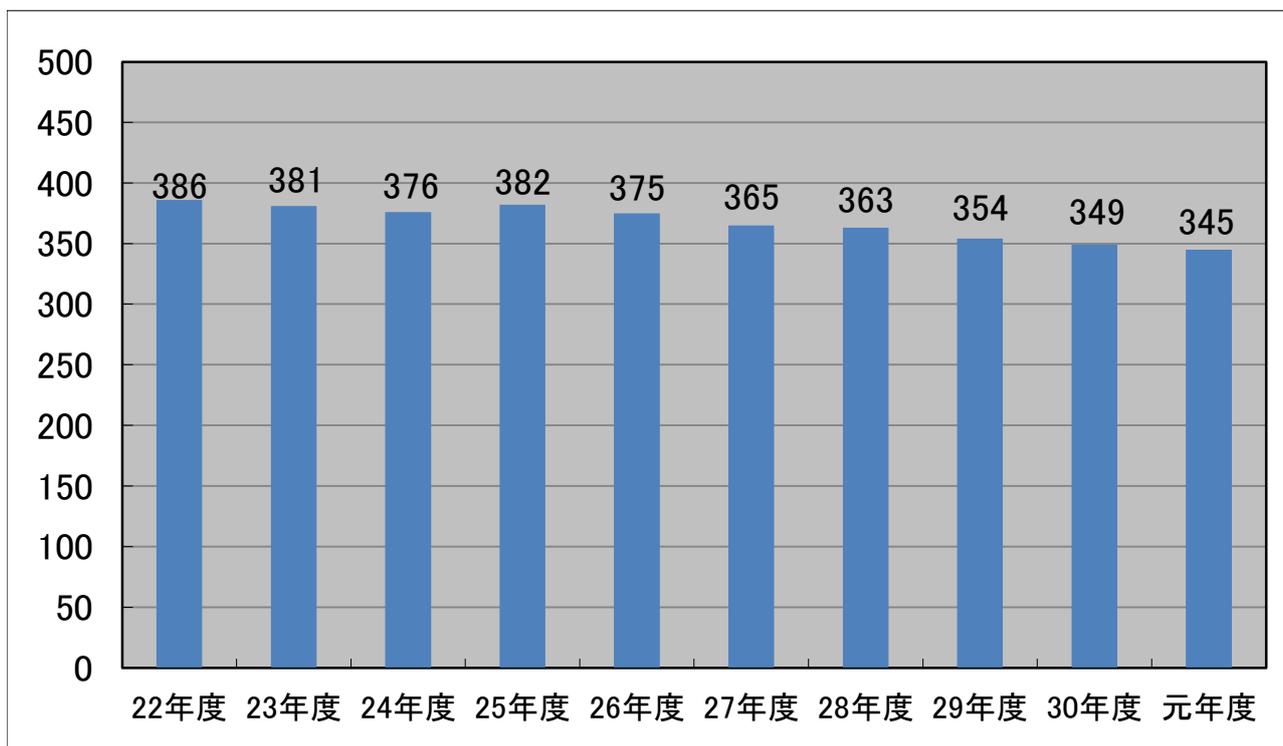
各年3月31日現在

区分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
元年度	157	83	59	46	345
30年度	160	84	59	46	349
増減	△ 3	△ 1	0	0	△ 4

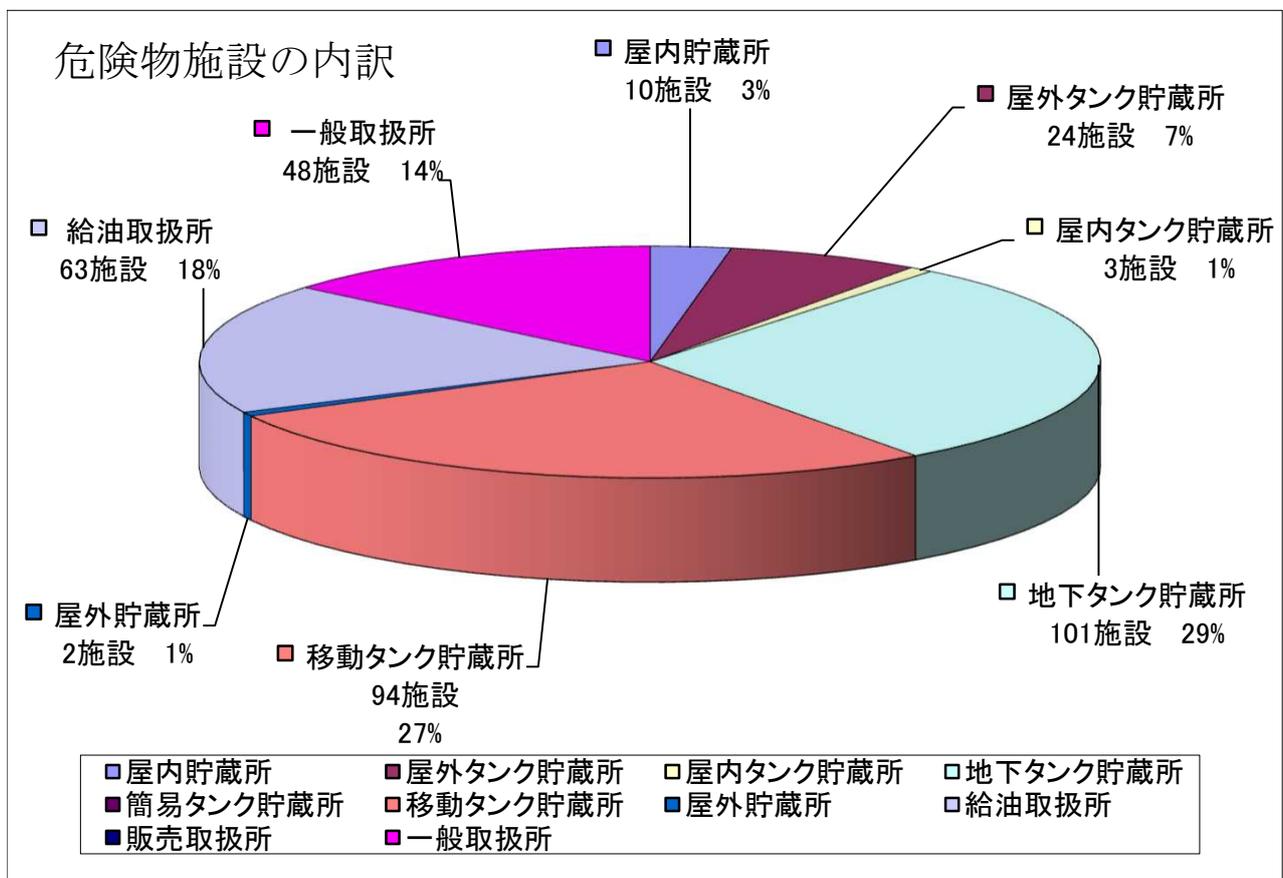
危険物施設の内訳は、次のとおりです。



過去10年間の危険物施設の推移は、次のとおりです。



令和元年度中の危険物施設の内訳は、次のとおりです。



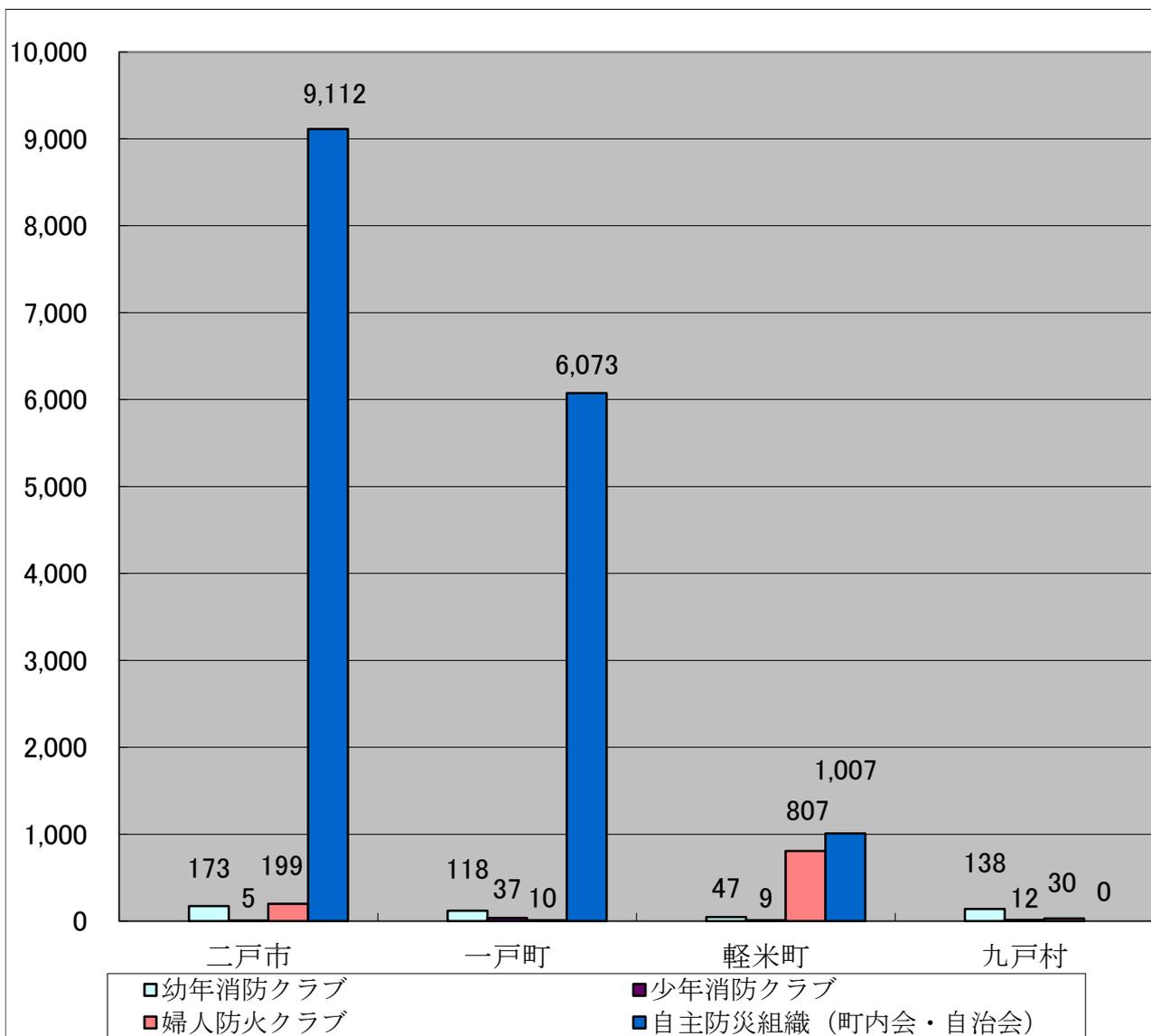
(6) 自主防災組織

防火クラブ等の自主防災組織は、107団体であり、前年度に比べ4団体減少しています。市町村別の組織状況は、次のとおりです。

各年3月31日現在

区 分	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
元年度	45	37	18	7	107
30年度	52	34	18	7	111
増 減	△ 7	3	0	0	△ 4

自主防災組織会員数の内訳は、次のとおりです。



8 警 防

(1) 消防車両の配置状況

令和2年4月1日現在

区分 所属	消防ポンプ自動車				特殊消防自動車						救急自動車		その他の消防車両			合計	
	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ付大型水槽車	小計	人員輸送車	無線中継車	屈折梯子車	救助工作車	資機材搬送車	小計	高規格救急自動車	非常用救急自動車	小計	指揮車	広報車		小計
消防本部		1	1	2	1	1	1	1	1	5		1	1		1	1	9
二戸消防署	1	1		2					1	1	1		1	1		1	5
一戸分署	1	1		2						0	1		1		1	1	4
軽米分署		1		1						0	1		1		1	1	3
浄法寺分署		1		1						0	1		1		1	1	3
九戸分署		1		1						0	1		1		1	1	3
合計	2	6	1	9	1	1	1	1	2	6	5	1	6	1	5	6	27

(2) 通信施設

通信施設の状況は、次のとおりです。

令和2年4月1日現在

総合防災情報ネットワークシステム端末装置	防災行政無線端末装置	火災・救急専用電話	衛星通信利用災害専用電話	衛星携帯電話	直通電話 東日本高速道路株式会社	消防無線電話装置					
						固定局	基地局	移動局			
								車載型	卓上型	可搬型	携帯型
1	5	6	6	15	1	2	2	29	6	7	37

(3) 消防水利

市町村別の消防水利は、次のとおりです。

令和2年4月1日現在

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計	
現 有 数	消 火 栓	地上式	501	397	303	188	1,389
		地下式	0	0	0	0	0
		小 計	501	397	303	188	1,389
	防 火 水 槽	40m ³ 級未満	93	23	20	143	279
		40m ³ 級	277	139	206	13	635
		100m ³ 級	4	0	2	0	6
		小 計	374	162	228	156	920
	合 計		875	559	531	344	2,309
	基準に適合する水利数		782	535	511	201	2,029

※防火水槽の区分 40m³級未満=20m³以上
 40m³級=40m³以上
 100m³級=100m³以上

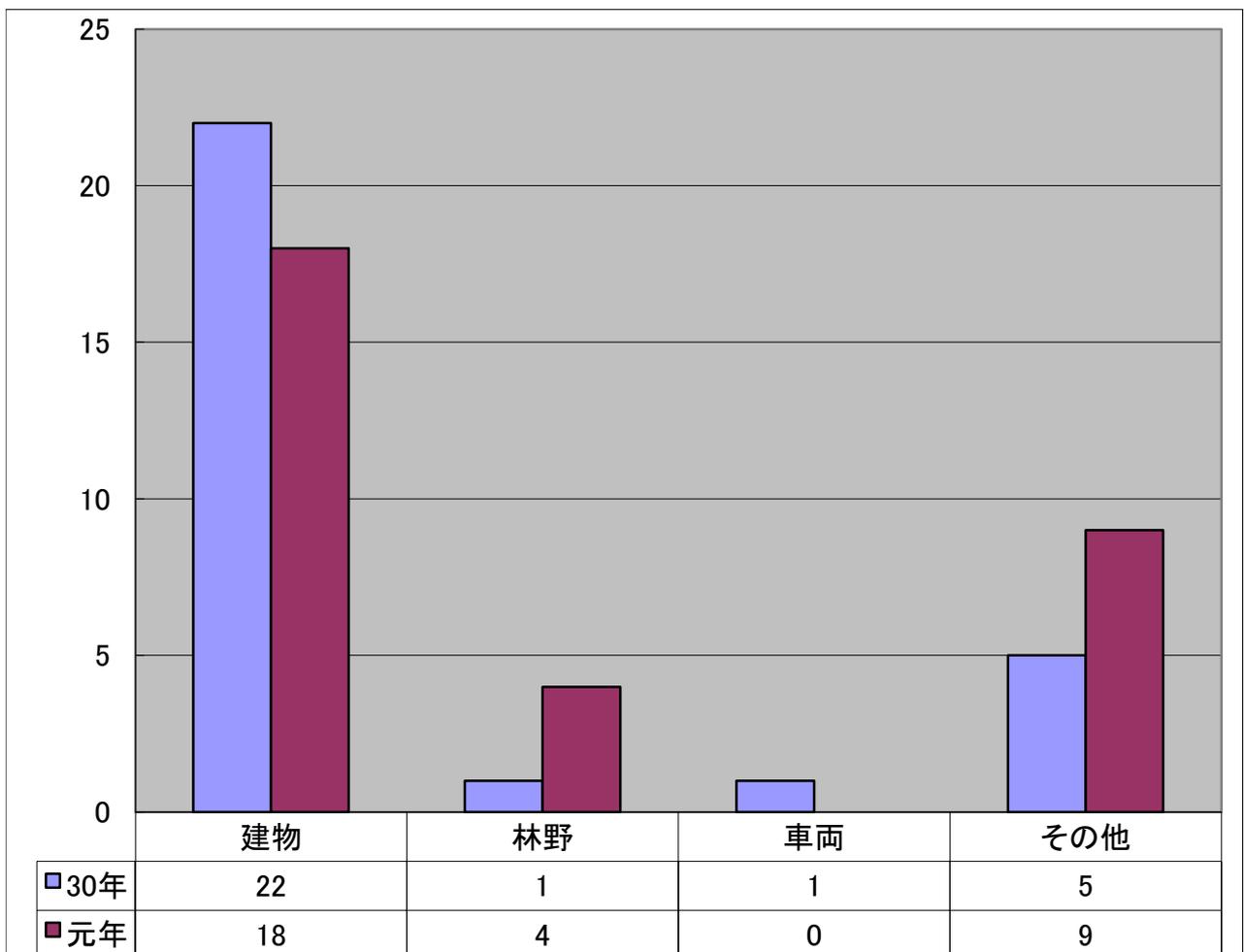
9 火 災

(1) 出火件数

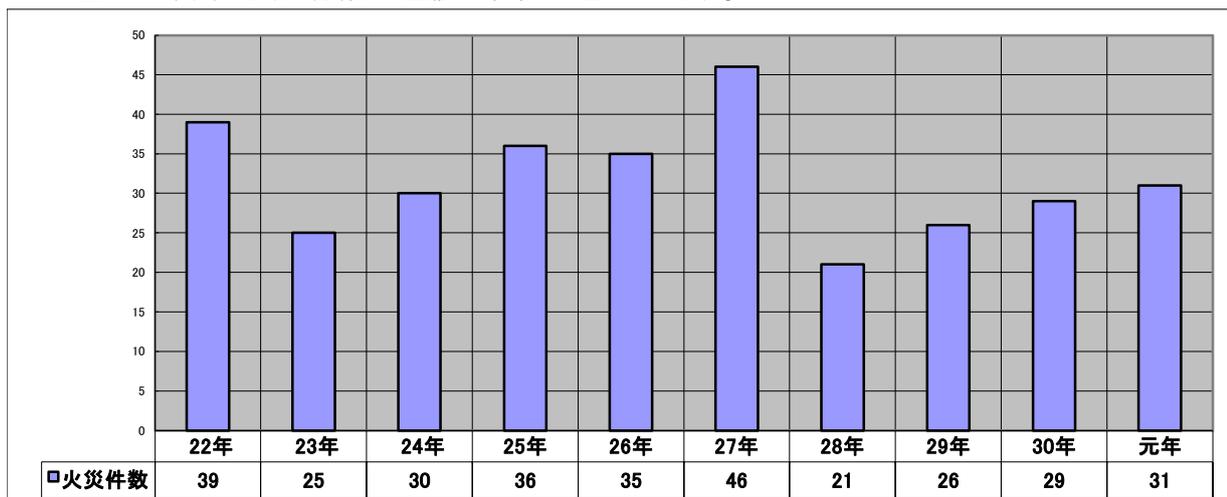
出火件数は、31件であり、前年に比べ2件増加しています。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出火件数	元年	11	7	10	3	31
	30年	10	8	6	5	29
	増減	1	△ 1	4	△ 2	2
出火率	元年	4.1	5.7	11.0	5.2	
	30年	4.4	8.0	4.3	0.0	
	増減	△ 0.3	△ 2.3	6.7	5.2	

火災の種別は、次のとおりです。



過去10年間の出火件数の推移は、次のとおりです。

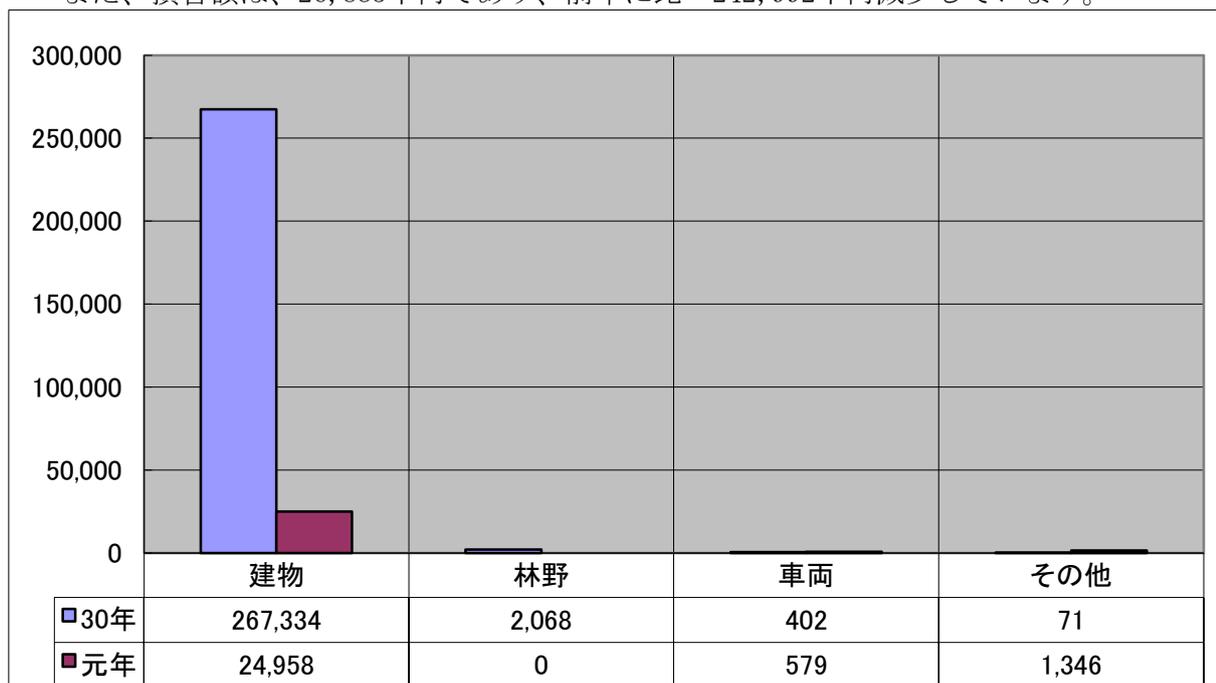


(2) 焼損面積及び損害額

建物火災の焼損面積は、1,939㎡であり、前年に比べ7,838㎡減少しています。
また、林野火災の焼損面積87aであり、前年に比べて325a減少しています。

区 分	焼 損 面 積	
	建物火災 (㎡)	林野火災 (a)
元年	1,939	87
30年	9,777	412
増 減	△ 7,838	△ 325

また、損害額は、26,883千円であり、前年に比べ242,992千円減少しています。



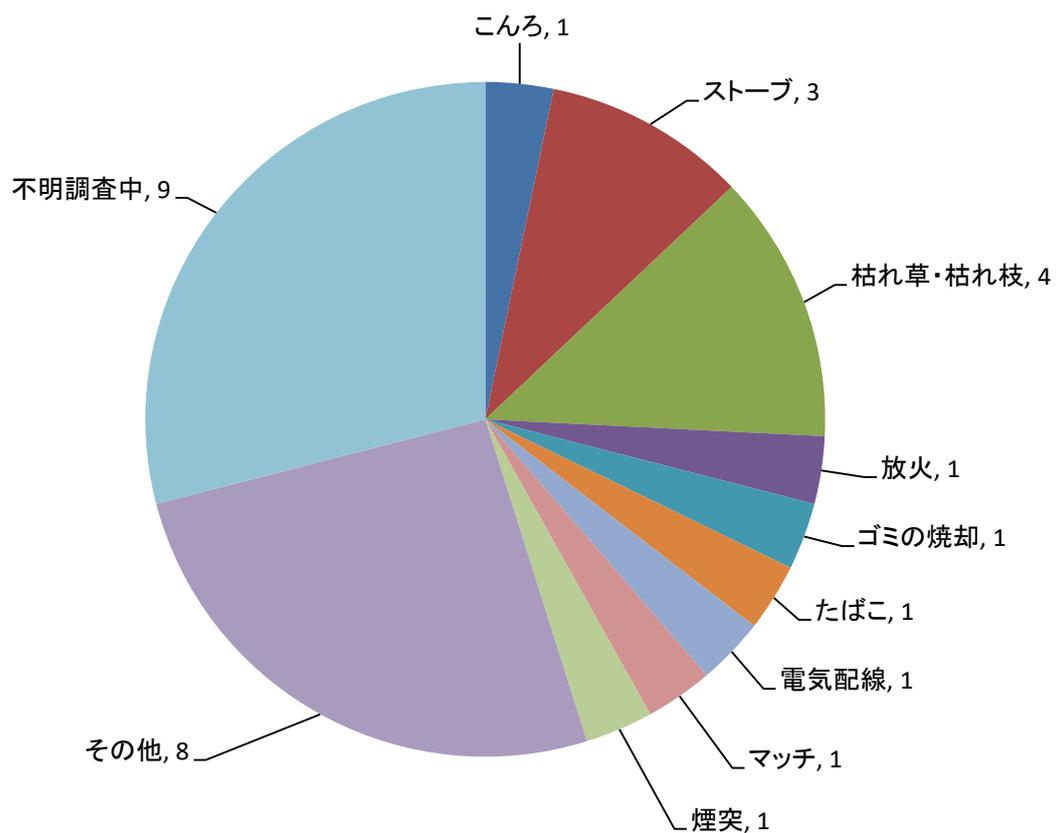
(3) 死傷者

火災による死者は、2人であり、前年に比べ1増加している。
また、負傷者は、0人であり、前年に比べると4人減少している。

区 分	死 者		負 傷 者
		うち65歳以上の高齢者	
元年	2	2	0
30年	1	1	4
増 減	1	1	△ 4

(4) 出火原因

火災の出火原因は、「不明調査中」が9件で最も多く、次いで「その他」「枯れ草・枯れ枝」「ストーブ」となっています。
出火原因別の件数と割合は、次のとおりです。



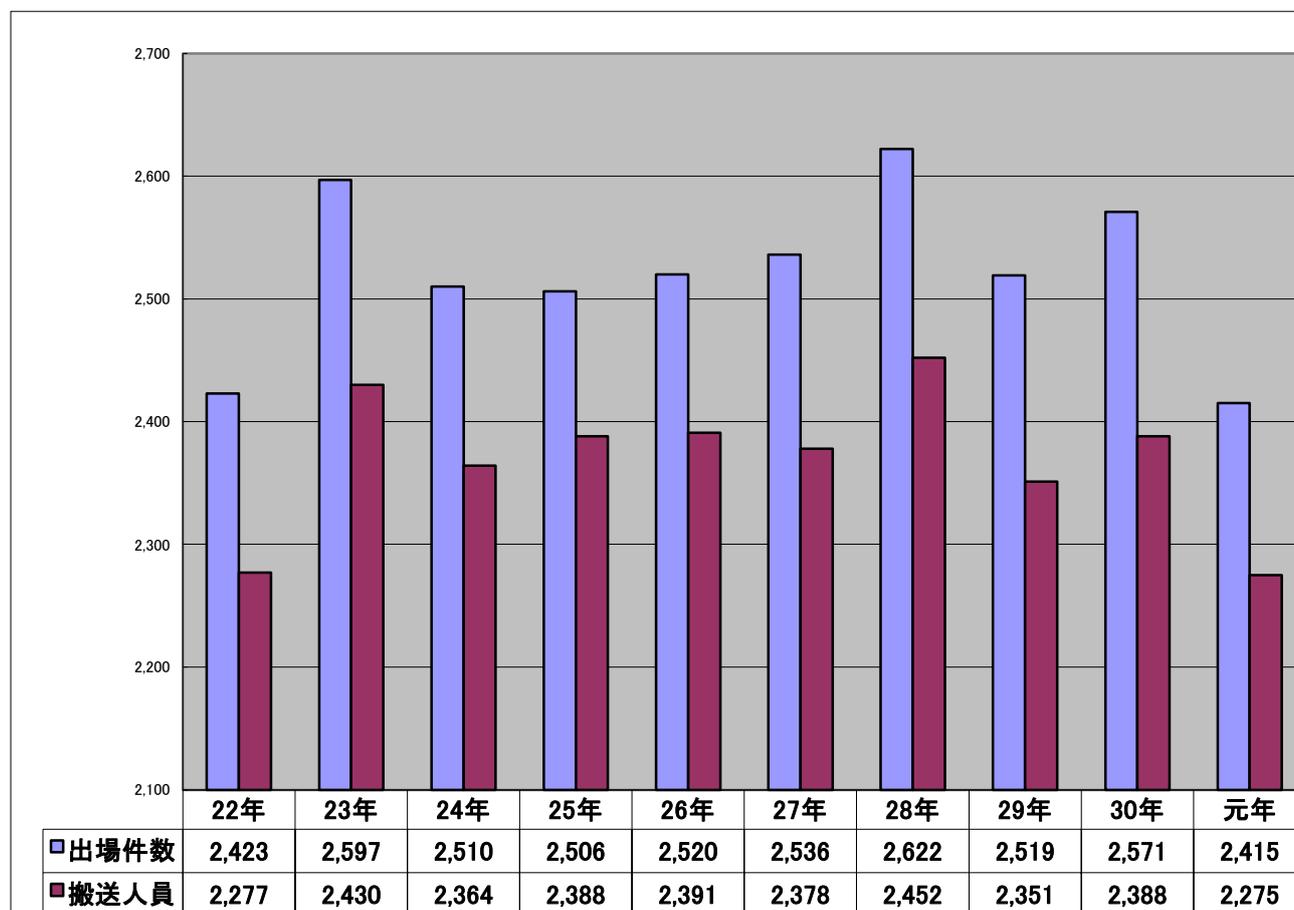
10 救 急

(1) 出場件数及び搬送人員

出場件数は2,415件であり、前年に比べ156件減少しています。
 また、搬送人員は2,275人であり、前年に比べ113人減少しています。
 市町村別の出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
出場件数	元年	1,105	634	394	282	2,415
	30年	1,181	637	449	304	2,571
	増 減	△ 76	△ 3	△ 55	△ 22	△ 156
搬送人員	元年	1,042	591	377	265	2,275
	30年	1,101	587	421	279	2,388
	増 減	△ 59	4	△ 44	△ 14	△ 113

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。

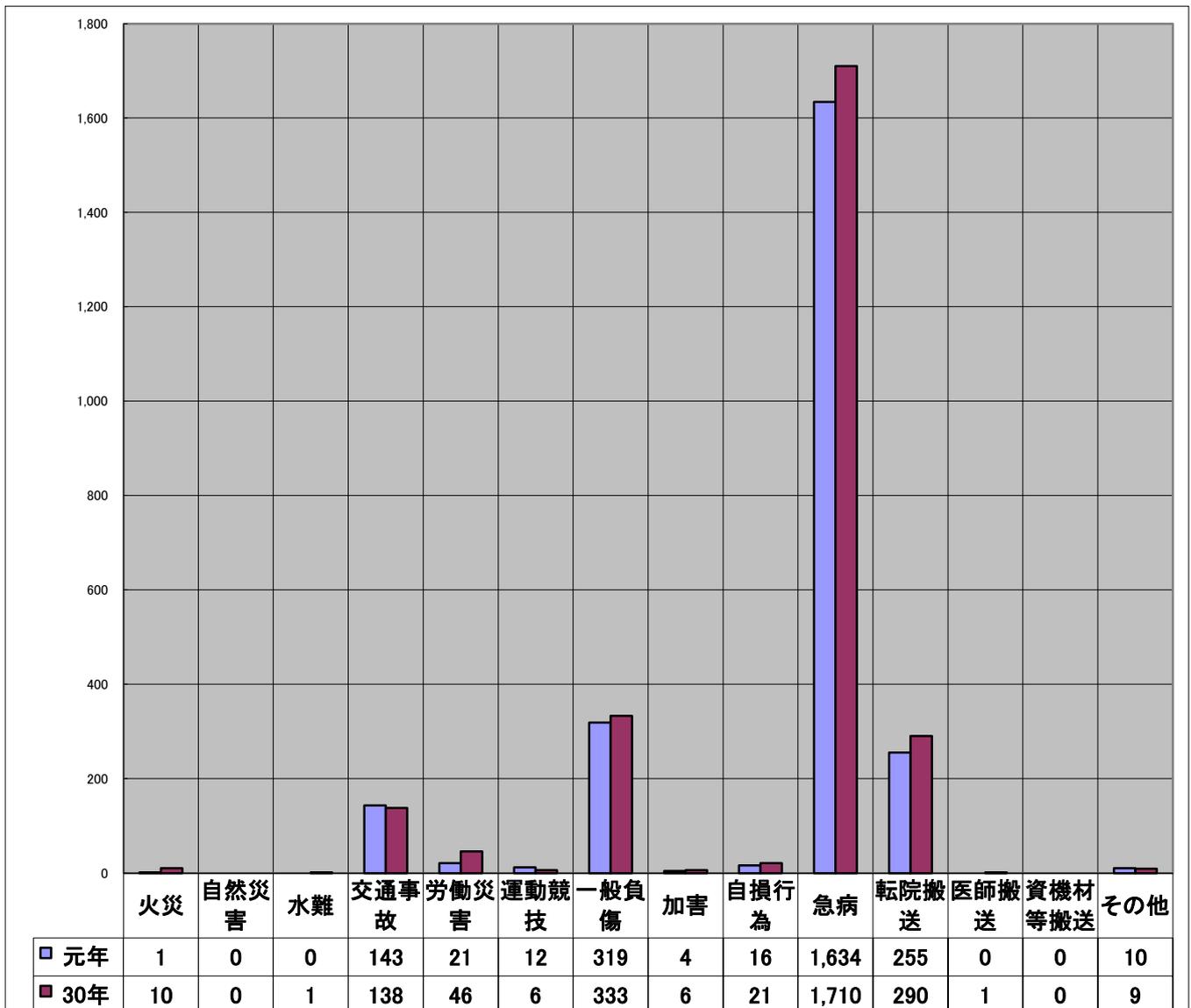


(2) 事故種別

事故種別ごとの出場件数は「急病」が1,634件で最も多く、前年に比べ76件減少しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
元年	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10	2,415
30年	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9	2,571
増減	△ 9	0	△ 1	5	△25	6	△14	△ 2	△ 5	△ 76	△ 35	△ 1	0	1	△ 156

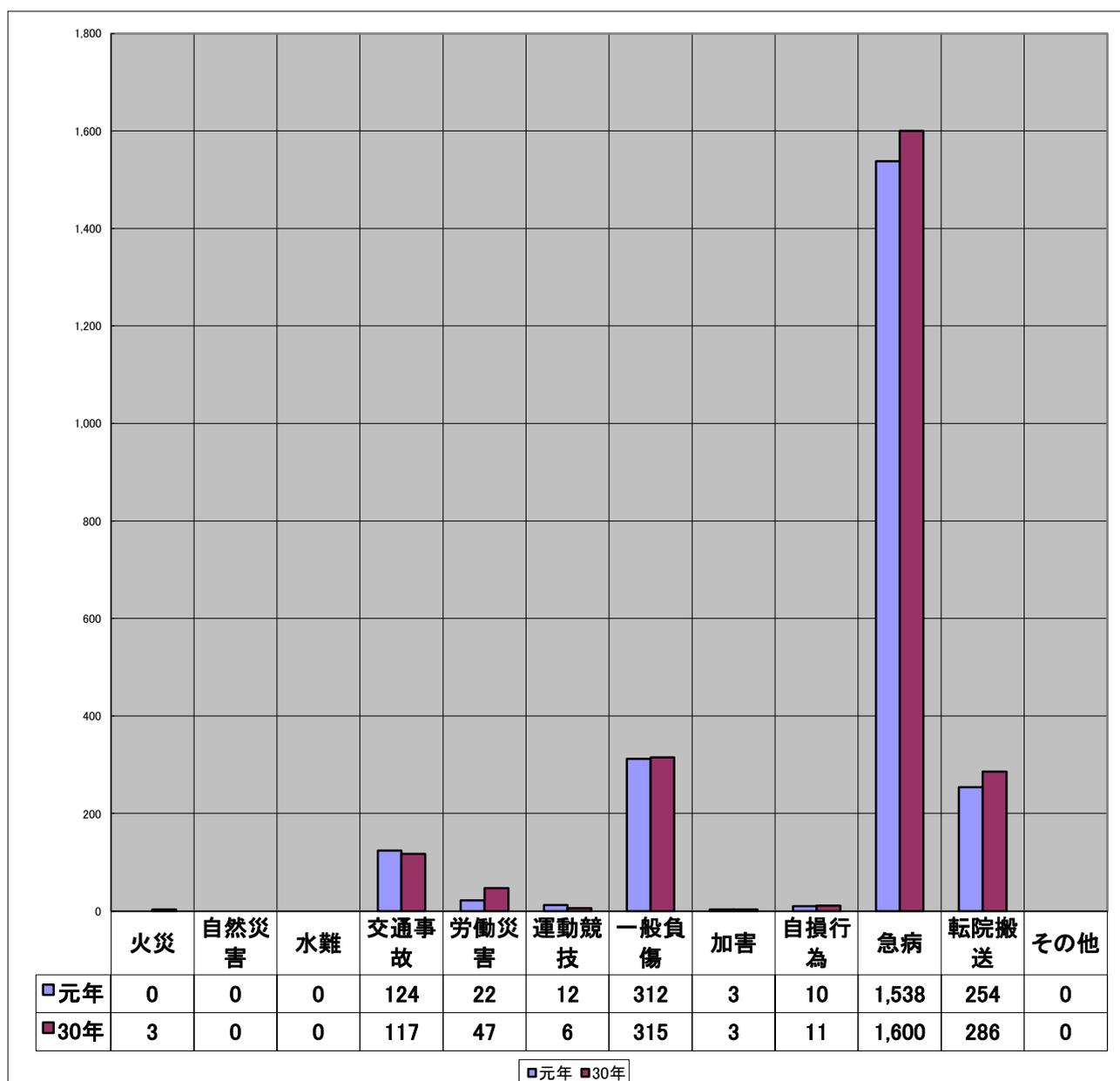
事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。



また、事故種別ごとの搬送人員は「急病」が1,538人で最も多く、前年に比べ62人減少しており、次いで「一般負傷」、「転院搬送」の順となっています。

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		計
											転院搬送	その他	
元年	0	0	0	124	22	12	312	3	10	1,538	254	0	2,275
30年	3	0	0	117	47	6	315	3	11	1,600	286	0	2,388
増減	△ 3	0	0	7	△ 25	6	△ 3	0	△ 1	△ 62	△ 32	0	△ 113

事故種別ごとの搬送人員を前年と比較すると、次のとおりです。

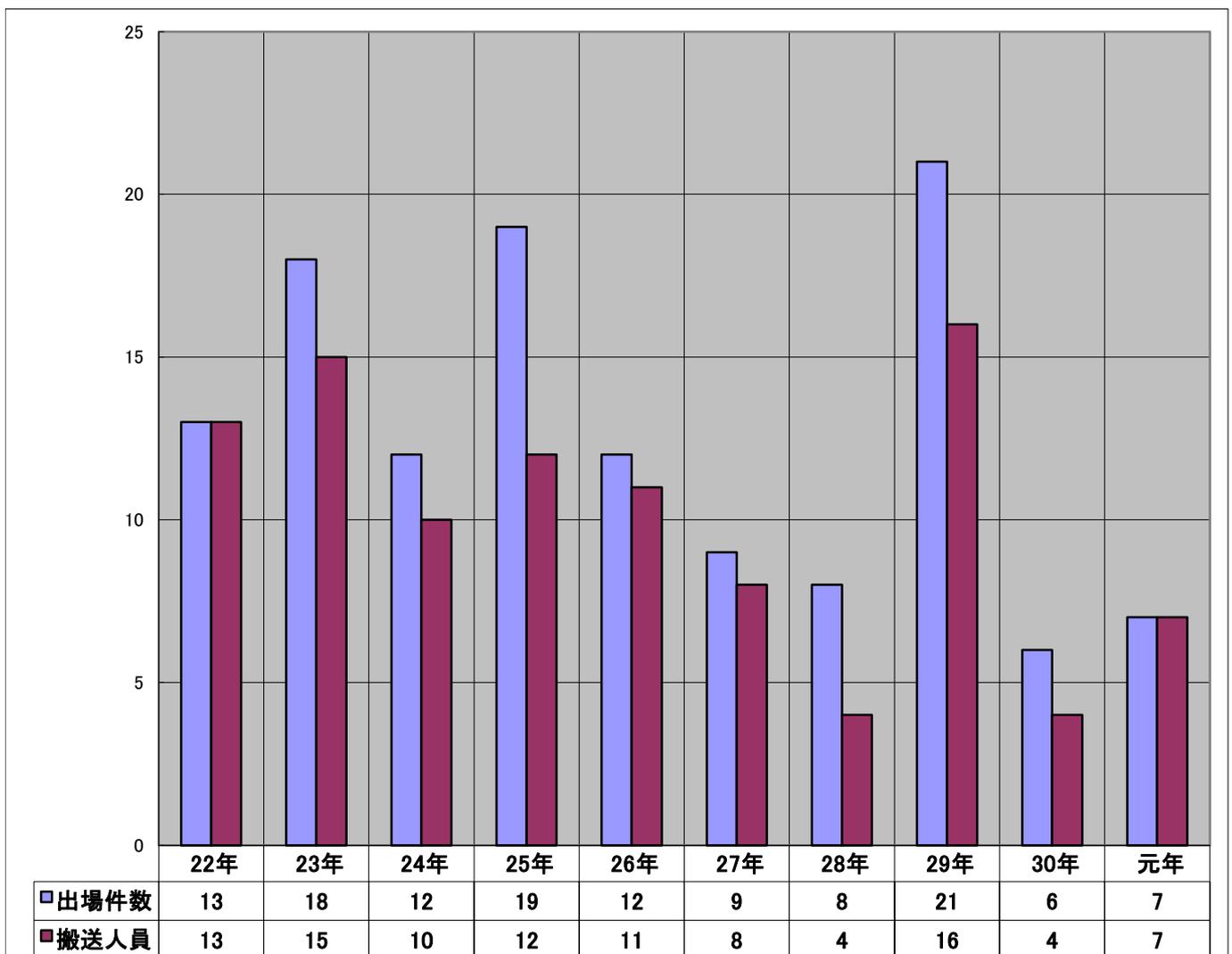


(3) 八戸自動車道の救急

八戸自動車の救急出動件数は7件であり、前年より1件増加しています。
 また、搬送人員は7人であり、前年に比べ3人増加しています。
 八戸自動車道の救急出場件数及び搬送人員は、次のとおりです。

区 分	出 場 件 数	搬 送 人 員
元年	7	7
30年	6	4
増 減	1	3

過去10年間の出動件数及び搬送人員の推移は、次のとおりです。



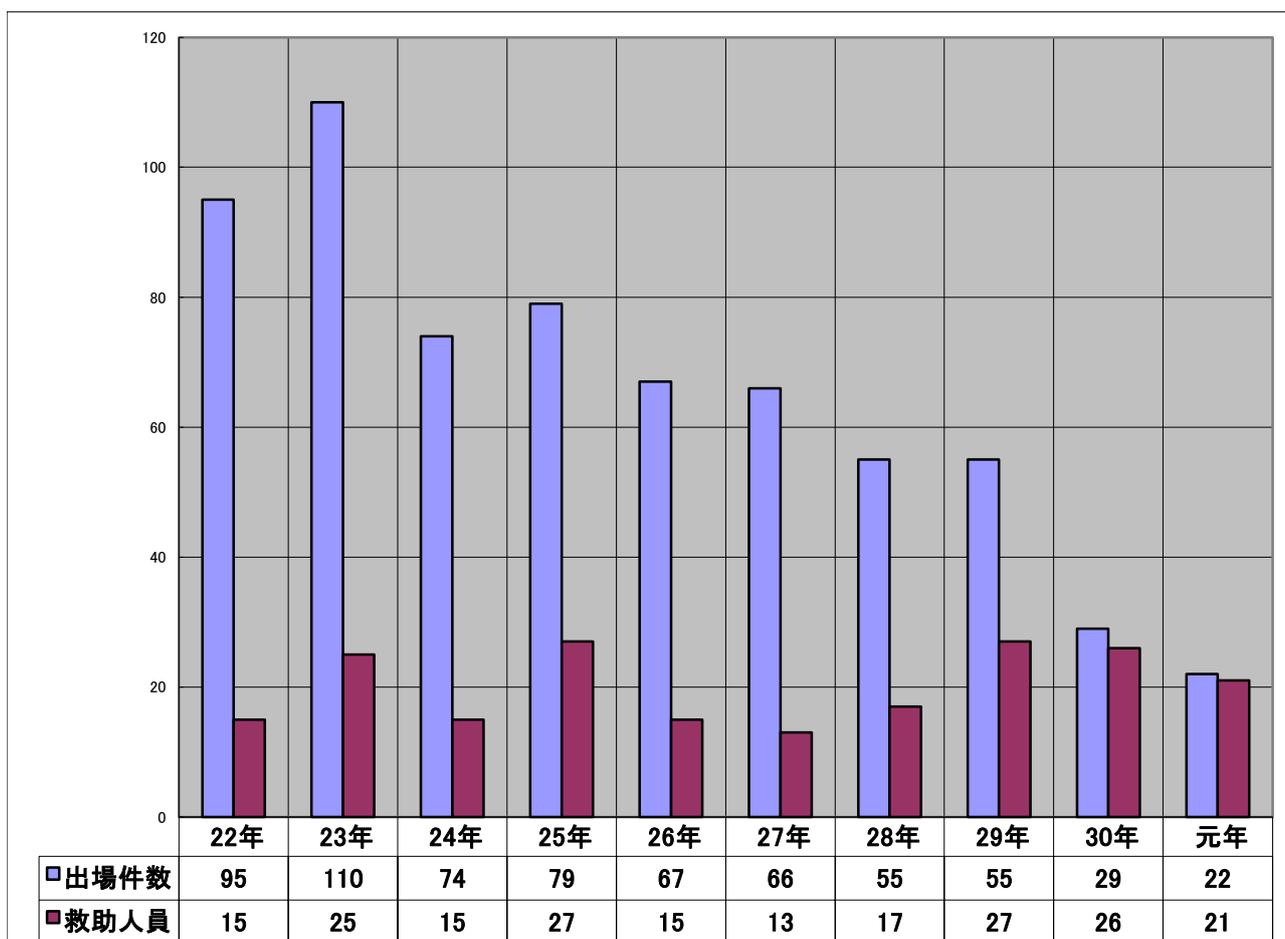
11 救 助

(1) 出場件数及び救助人員

出動件数は、22件であり、前年に比べ7件減少しました。
 また、救助人員は、21人であり、前年に比べ5人減少しました。
 市町村別の出動件数及び救助人員は、次のとおりです。

区 分		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合計
出動件数	元年	5	8	7	2	22
	30年	14	2	10	3	29
	増減	△ 9	6	△ 3	△ 1	△ 7
救助人員	元年	5	6	7	3	21
	30年	10	2	7	7	26
	増減	△ 5	4	0	△ 4	△ 5

過去10年間の出動件数及び救助人員の推移は、次のとおりです。

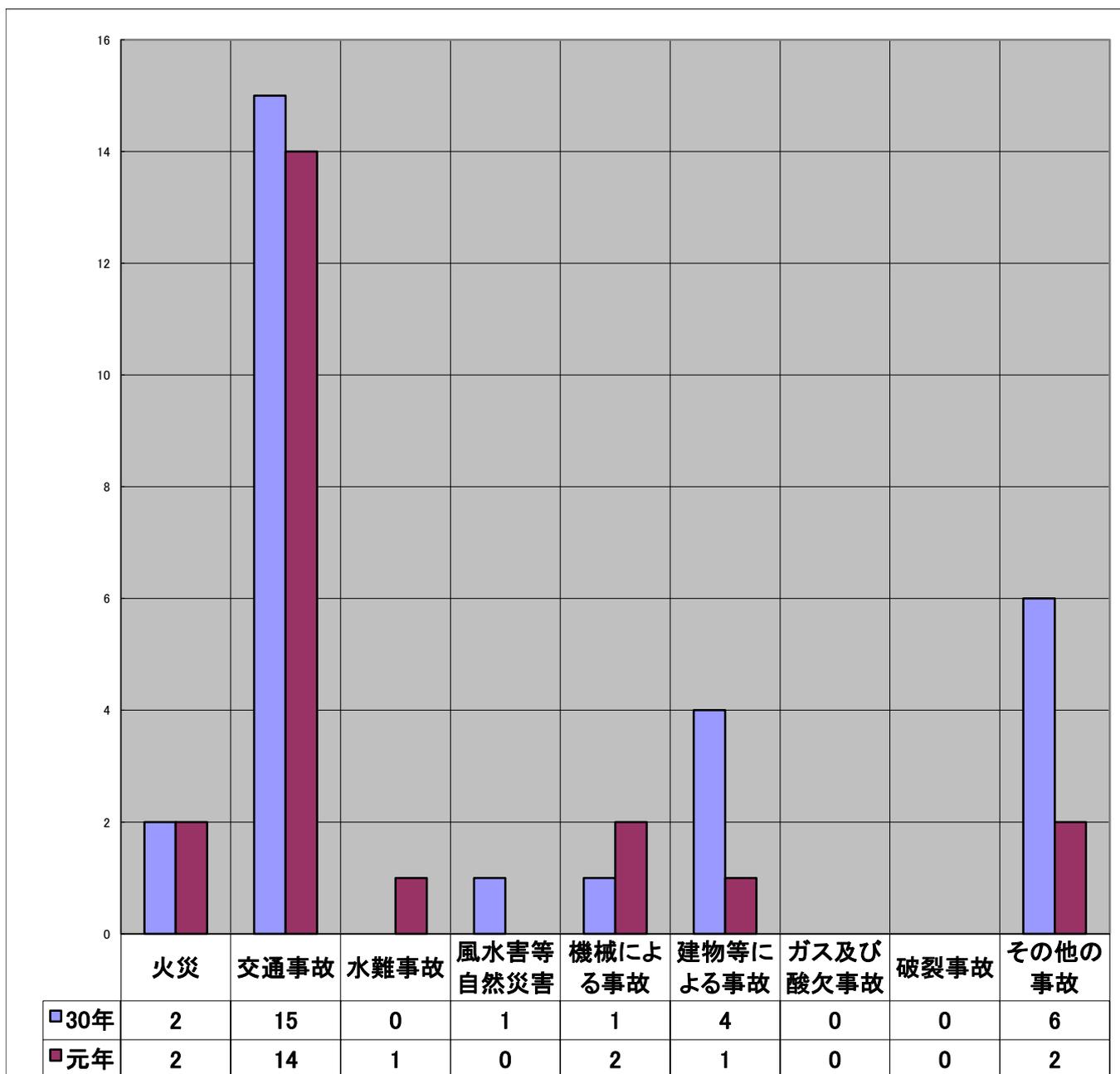


(2) 事故種別

事故種別ごとの出場件数は、「交通事故」が14件で最も多く、次いで「火災」、「機械による事故」、「その他の事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事 故	その他 の事故	計
元年	2	14	1	0	2	1	0	0	2	22
30年	2	15	0	1	1	4	0	0	6	29
増減	0	△ 1	1	△ 1	1	△ 3	0	0	△ 4	△ 7

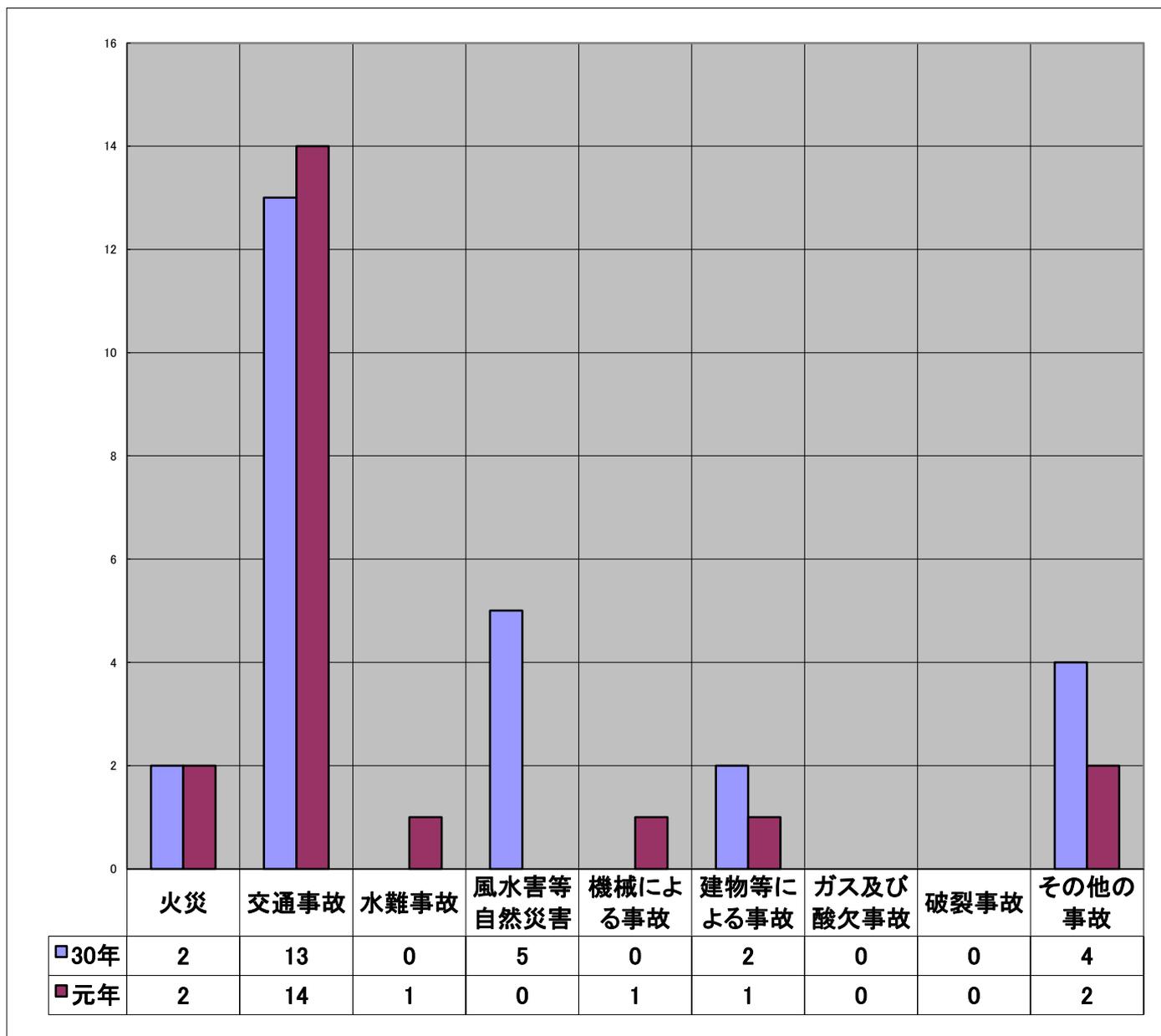
事故種別ごとの出場件数を前年と比較すると、次のとおりです。



また、事故種別ごとの救助人員は、「交通事故」が14人で最も多く、次いで「火災」、「その他の事故」の順となっています。

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
元年	2	14	1	0	1	1	0	0	2	21
30年	2	13	0	5	0	2	0	0	4	26
増減	0	1	1	△ 5	1	△ 1	0	0	△ 2	△ 5

事故種別ごとの救助人員を前年と比較すると、次のとおりです。



資 料 編



【御所野遺跡】

一戸町の御所野遺跡は「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとして、平成23年から行政、町民、事業者などが一体となって世界遺産登録を目指しています。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録への取り組みは平成20年から始まり、平成21年にはユネスコの世界遺産暫定リスト一覧表に登載され、世界遺産登録への動きが本格化しました。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、北海道、青森県、秋田県、岩手県の4道県に点在する17遺跡群で構成されています。それぞれ、縄文時代草創期から晩期の各時期の代表的な遺跡で構成されているほか、海岸や内陸の河川沿いに営まれた集落であったり、祭祀を行うためのセンター的性格の遺跡など、縄文時代を総合的にとらえることのできる資産構成となっています。（御所野縄文公園 HP から抜粋）

1 職員現員数

令和2年4月1日現在の現員数は、次のとおりです。

定数	現員数
115人	115人

職員の採用状況

令和2年4月1日付4人採用

2 研修

令和元年度研修計画に基づき実施した研修は、次のとおりです。

	研修区分	人員		研修区分	人員
岩手県消防学校	初任教育	1	消防大学校	救助科	0
	上級幹部科	2		特別講習会	0
	初・中級幹部科	3		自主防育成コース	1
	警防科	0	資格系	救急救命東京研修所	2
	救助科	1		救急救命九州研修所	1
	救急科	2		二級小型船舶操縦	1
	予防科	2		小型移動式クレーン運転	2
	火災調査科	2		玉掛け技能講習	2
	特別聴講	13		小型車両系建設機械運転	2
	計	26		計	11

3 表彰

令和元年度の職員表彰状況は、次のとおりです。

区	分	人員	
消防庁長官	功労章	0	
消防庁長官	永年勤続功労章	1	
岩手県知事	功績章	3	
組合管理者	功労章	3	
全国消防長会	永年勤続功労者表彰	特別	1
		30年	1
全国消防長会東北支部	永年勤続功労者表彰(20年)	4	
(公財)岩手県消防協会	功労章	1	
	功績章	2	
	内助功労賞	1	
(公財)日本消防協会	勤続章(30年)	5	
(一財)全国消防協会	全国優良消防職員表彰	1	

令和元年度中の主要行事

月	日	行 事 内 容	開 催 場 所
4	1	辞令交付式	消防本部
	3	第 65 期消防職員初任教育入校式	岩手県消防学校
	9	岩手県消防協会二戸支部総会	軽米町
	11	岩手県消防長会 4 月定例会	盛岡市
	21	二戸地区山火事防止パレード	管内全域
	26	九戸村消防団規律訓練大会	九戸村
	29	全国消防長会東北支部総会	福島市
	〃	九戸村消防演習	九戸村
〃	三八地区消防協会三戸地区観閲式	南部町	
5	3	二戸市消防演習	二戸市
	11	一戸町消防操法競技会	一戸町
	12	一戸町消防演習	一戸町
	16	第 97 回全国消防長会技術委員会	愛知県豊田市
	24	岩手県消防協会二戸支部団長・事務担当者会議	消防本部
	24	岩手県消防署長会 5 月定例会	盛岡市
	26	九戸村消防操法競技会	九戸村
	〃	軽米町消防操法競技会	軽米町
27	二戸地区広域行政事務組合議会臨時会（第 1 回）	二戸市	
6	2	二戸市消防操法競技会	二戸市
	3	ハラスメント等撲滅推進会議	消防本部
	7	岩手県危険物安全推進大会	盛岡市
	10	岩手県消防学校校友会役員総会及び理事会	岩手県消防学校
	17	岩手県危険物安全協会連合会総会・理事会	盛岡市
	18	岩手県消防協会消防長、消防団長及び消防担当課長会議	盛岡市
	28	二戸地区広域行政事務組合議会臨時会（第 2 回）	二戸市
	30	二戸支部操法協議会	二戸市
7	3	第 43 回消防救助技術岩手県大会	岩手県消防学校
	6	第 33 回東北救急医学会総会・学術集会	宮城県仙台市
	8	危険物安全協会二戸支部総会	二戸市
	17	第 1 回二戸地域MC協議会	二戸市
	24	第 48 回全国消防長会東北地区支部消防救助指導会	山形県山形市
	27	消防職員委員会	消防本部
	29	ラグビーパンパシフィックネーションズカップ警戒	釜石市
8	7	岩手県防災へり連携訓練	二戸市
	21	馬淵川水系水質汚濁対策連絡協議会	八戸市
	24	二戸市防災訓練	浄法寺小学校
	〃	全国優良消防職員表彰式	岡山県岡山市
9	12	全国消防長会東北地区支部消防署長研修会	秋田県鹿角市
	15	軽米町消防演習	軽米町
	〃	令和元年度消防職員採用第 1 次試験	福岡中学校
	25	ラグビーワールドカップ警戒	釜石市

月	日	行 事 内 容	開 催 場 所
9	27 30	岩手県消防殉職者慰霊祭 第 65 期消防職員初任教育卒業式	盛岡市 岩手県消防学校
10	2 4 5 7 15 29	岩手県消防長会 10 月定例会 二戸広域市町村圏企画消防担当課長会議 岩手県消防協会二戸地区支部消防団長管外視察研修 二戸広域管内市町村長会議 二戸地区広域行政事務組合議会定例会 令和元年度消防職員採用第 2 次試験	二戸市 二戸市 青森県鱒ヶ沢町 二戸市 二戸市 消防本部
11	6 21 26 27 29	東北自動車道合同訓練参観 第 67 回全国消防技術者会議 全国消防長会東北支部消防長研修会 二戸広域市町村圏主管課長会議 第 22 回全国消防救助シンポジウム	前沢 S A 東京都 盛岡市 二戸市 東京都
12	17 25 27	消防職員意見発表会二戸地区選考会 二戸地区広域行政事務組合議会臨時会（第 3 回） 仕事納め式	消防本部 二戸市 消防本部
1	3 〃 5 〃 6 10 27 30 31 〃	二戸市消防出初め式 軽米町消防出初め式 一戸町消防出初め式 九戸村消防出初め式 御用始め 二戸地区広域行政事務組合管理者年頭訓示、特別点検 岩手県消防協会二戸支部団長等会議 二戸広域市町村圏企画消防担当課長会議 全国救急隊員シンポジウム 二戸広域管内市町村長会議	二戸市 軽米町 一戸町 九戸村 消防本部 消防本部 消防本部 二戸市 宮城県仙台市 二戸市
2	2 6 8 13 14 〃 20 21 〃 26 28	婦人消防等指導者研修会 台風 19 号に係る緊急援助隊検証会 第 3 回通信指令シンポジウム 二戸地区広域行政事務組合議会定例会 第 43 回岩手県消防職員意見発表会 〃 岩手県消防長会 2 月定例会 第 10 回岩手県 M C 救命士研修会 岩手県消防署長会 2 月定例会 〃 火災予防運動ポスターコンクール表彰式 二戸地区山火事連絡協議会 岩手県救急業務高度化推進協議会	花巻市 宮城県仙台市 東京都 二戸市 盛岡市 盛岡市 岩手県消防学校 盛岡市 消防本部 二戸市 盛岡市
3	6 28 29	安全衛生委員会 表彰状伝達式（岩手県消防協会定例表彰） 退職者辞令交付式、感謝状授与式、離任式	消防本部 消防本部 消防本部

消 防 職 員 の 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

所 属	階 級	合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		115 (6)	1	4	10	26 (3)	25 (2)	11	38 (1)
消 防 本 部		16 (6)	1	3	3	7 (3)	2 (2)	0	0 (1)
二 戸 消 防 署		33		1	3	10	5	3	11
	一 戸 分 署	19			1	3	5	2	8
	軽 米 分 署	16			1	2	5	2	6
	浄 法 寺 分 署	15			1	2	4	2	6
	九 戸 分 署	16			1	2	4	2	7

※ () 内は、兼務職員数を計上している。
 消防本部の兼務職員は、本署の合計数に算入した。

階級別・年齢別職員数

令和2年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計
21歳未満							5	5
21歳以上 26歳未満							16	16
26歳以上 31歳未満						9	17	26
31歳以上 36歳未満					8	2		10
36歳以上 41歳未満					11			11
41歳以上 46歳未満				10	6			16
46歳以上 51歳未満				14				14
51才以上 56歳未満			5	2				7
56歳以上	1	4	5					10
人 員	1	4	10	26	25	11	38	115

在職年数別消防職員数

令和2年4月1日現在

区 分	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
5年未満							16	16
5年以上 10年未満					1	5	20	26
10年以上 15年未満					6	6	2	14
15年以上 20年未満					7			7
20年以上 25年未満				4	11			15
25年以上 30年未満				14				14
30年以上	1	4	12	6				23
合 計	1	4	12	24	25	11	38	115

職員の資格取得状況

令和2年4月1日現在

免許等の区分			署分署別		消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署	計
			消防本部	二戸消防署							
運転免許・整備	普通自動車	第1種	0	3	0	1	0	2	6		
	準中型自動車	第1種	1	3	5	1	1	2	13		
	中型自動車	第1種	0	4	0	3	3	1	11		
	大型自動車	第1種	14	23	14	11	11	11	84		
	大型特殊自動車	第1種	3	3	3	2	4	1	16		
	けん引自動車	第1種	0	1	0	0	0	0	1		
	自動二輪	大型	0	1	0	1	1	1	4		
		中型	3	2	7	1	2	1	16		
自動車整備士	2級	1	0	0	0	0	0	1			
消防設備士	乙4類	0	0	1	0	0	1	2			
	乙6類	6	3	1	0	1	1	12			
予防技術資格者			1	6	7	4	4	4	26		
危険物	危険物取扱者	乙1類	0	0	0	0	1	1	2		
		乙2類	0	1	0	0	2	1	4		
		乙3類	0	2	0	1	2	1	6		
		乙4類	4	9	7	5	5	6	36		
		乙5類	0	1	0	0	1	1	3		
		乙6類	0	1	0	0	2	1	4		
		丙種	2	1	1	0	2	1	7		
ボイラー技士2級			1	0	0	1	0	0	2		
無線	陸上特殊無線技士	2級	11	14	5	4	2	2	38		
		3級	2	14	9	6	9	10	50		
	アマチュア無線技士	1	0	0	0	0	1	2			
救急・救助	救急救命士		5	12	6	4	5	4	36		
	救急講習修了士	250時間	9	24	17	13	14	12	89		
		135時間	7	3	1	1	1	2	15		
		115時間	7	3	1	1	1	2	15		
	レスキュー3、ロープレスキューテクニシャン		0	3	2	3	2	1	11		
	ガス・電気溶接		3	0	0	1	1	0	5		
	玉掛技能		8	11	6	5	3	6	39		
	移動式クレーン		9	10	6	5	3	6	39		
	小型船舶操縦士	1級	2	1	0	0	0	0	3		
		2級	6	6	2	0	1	1	16		
着衣泳指導員(プール)		0	1	0	0	1	0	2			
その他	第一種衛生管理者		1	0	0	0	0	0	1		
	有機溶剤取扱者		1	0	0	0	0	0	1		
	有機溶接作業主任者		1	0	0	0	0	0	1		
	特定化学物質作業主任者		2	2	2	0	2	0	8		
	第2種酸素欠乏危険作業主任者		1	0	0	0	0	0	1		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		8	8	3	2	1	0	22		
	鉛取扱作業主任者		1	1	0	0	0	0	2		
	甲種火薬類取扱保安責任者		0	0	0	0	0	1	1		

防火対象物の状況

令和2年3月31日現在

防火対象物の区分		署分署別	二 戸	一 戸	軽 米	浄 法	寺 署	九 戸	合 計
		消 防 署	分 署	分 署	分 署	分 署	分 署	分 署	
1	イ	劇場・映画館等	2	2	1			1	6
	ロ	公会堂・集会場	10	3	8	7		3	31
2	イ	キャバレー等							0
	ロ	遊技場等	3	1	1				5
	ハ	風俗営業等							0
	ニ	カラオケボックス等	1						1
3	イ	待合・料理店等							0
	ロ	飲食店	14	14	2	1		6	37
4		百貨店等	50	18	12	10		9	99
5	イ	旅館・ホテル等	17	3	3	4		3	30
	ロ	共同住宅等	167	64	15	1		5	252
6	イ	病院・診療所等	14	7	5	2			28
	ロ	養護老人ホーム等	17	34	5	4		4	64
	ハ	デイサービス等	23	38	10	7		5	83
	ニ	幼稚園等	3	6	1				10
7		学校等	46	34	18	4		19	121
8		図書館・博物館等	5	2	4	1		1	13
9	イ	蒸気・熱気浴場等							0
	ロ	イ以外の公衆浴場		3				1	4
10		車両の停車場	3	1					4
11		神社・寺院・教会	20	3	9	2		7	41
12	イ	工場・作業場	126	71	49	34		52	332
	ロ	テレビスタジオ等							0
13	イ	車庫・駐車場	9	13	8	4		7	41
	ロ	飛行機等格納庫							0
14		倉庫	101	71	41	35		29	277
15		前各項に該当しない事業場	370	398	482	153		560	1,963
16	イ	複合用途（特定）	73	33	16	11		20	153
	ロ	複合用途（非特定）	50	16	16	9		7	98
16の2		地下街							0
16の3		準地下街							0
17		重要文化財等	2	2	2	2			8
18		アーケード							0
合 計			1,126	837	708	291		739	3,701

署分署別建築同意状況

令和2年3月31日現在

署分署別 防火対象物の区分		計	二 消 防 署	一戸分署	軽米分署	浄 法 寺 分 署	九戸分署
1	イ 劇場・映画館等	0	0	0	0	0	0
	ロ 公会堂・集会場	2	0	2	0	0	0
2	イ キャバレー等	0	0	0	0	0	0
	ロ 遊技場等	0	0	0	0	0	0
	ハ 風俗営業等	0	0	0	0	0	0
	ニ カラオケボックス等	0	0	0	0	0	0
3	イ 待合・料理店等	0	0	0	0	0	0
	ロ 飲食店	0	0	0	0	0	0
4	百貨店等	0	0	0	0	0	0
5	イ 旅館・ホテル等	0	0	0	0	0	0
	ロ 共同住宅等	0	0	0	0	0	0
6	イ 病院・診療所等	0	0	0	0	0	0
	ロ 養護老人ホーム等	4	3	0	1	0	0
	ハ デイサービス等	2	1	1	0	0	0
	ニ 幼稚園等	0	0	0	0	0	0
7	学校等	1	0	0	0	0	1
8	図書館・博物館等	0	0	0	0	0	0
9	イ 蒸気・熱気浴場等	0	0	0	0	0	0
	ロ イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0
10	車両の停車場	0	0	0	0	0	0
11	神社・寺院・教会	3	1	2	0	0	0
12	イ 工場・作業場	6	1	1	3	1	0
	ロ テレビスタジオ等	0	0	0	0	0	0
13	イ 車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0
	ロ 飛行機等格納庫	0	0	0	0	0	0
14	倉庫	4	0	3	1	0	0
15	前各項に該当しない事業場	28	6	7	5	6	4
16	イ 複合用途（特定）	0	0	0	0	0	0
	ロ 複合用途（非特定）	4	0	1	2	1	0
16の2	地下街	0	0	0	0	0	0
16の3	準地下街	0	0	0	0	0	0
17	重要文化財等	0	0	0	0	0	0
18	アーケード	0	0	0	0	0	0
計		54	12	17	12	8	5
建築種別	新築	50	12	14	12	8	4
	増築	2	0	1	0	0	1
	改築	0	0	0	0	0	0
	その他	2	0	2	0	0	0

中高層建築物の用途別の状況

令和2年3月31日現在

防火対象物の区分		階数別	計	階 数 別						
				3階	4階	5階	6階	7階	8階	
1	イ	劇場・映画館等	0							
	ロ	公会堂・集会場	3	2	1					
2	イ	キャバレー等	0							
	ロ	遊技場等	0							
	ハ	風俗営業等	0							
	ニ	カラオケボックス等	0							
3	イ	待合・料理店等	0							
	ロ	飲食店	4	4						
4		百貨店等	2	2						
5	イ	旅館・ホテル等	4	1		2	1			
	ロ	共同住宅等	55	38	10	6		1		
6	イ	病院・診療所等	5	2	2	1				
	ロ	養護老人ホーム等	8	7	1					
	ハ	デイサービス等	2	1	1					
	ニ	幼稚園等	0							
7		学校等	28	25	3					
8		図書館・博物館等	2	2						
9	イ	蒸気・熱気浴場等	0							
	ロ	イ以外の公衆浴場	0							
10		車両の停車場	1	1						
11		神社・寺院・教会	0							
12	イ	工場・作業場	11	8	3					
	ロ	テレビスタジオ等	0							
13	イ	車庫・駐車場	0							
	ロ	飛行機等格納庫	0							
14		倉庫	2	2						
15		前各項に該当しない事業場	41	25	12	3				1
16	イ	複合用途（特定）	30	27		2	1			
	ロ	複合用途（非特定）	11	10	1					
16の2		地下街	0							
16の3		準地下街	0							
17		重要文化財等	0							
18		アーケード	0							
合 計			209	157	34	14	2	1		1

市町村別	二	戸	市	141	102	25	11	1	1	1
	一	戸	町	35	29	2	3	1		
	軽	米	町	20	15	5				
	九	戸	村	13	11	2				

消防用設備等（特殊消防設備等）の設置届出状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

種 別	区 分	通常用いられる消防用設備等															小 計	必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	合 計																		
		消防の用供する設備																																			
		消 火 設 備										警 報 設 備			避難設備					消火活動上必要な施設																	
		消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス ブ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備	泡 消 火 設 備	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 器	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備	非 常 警 報 設 備				避 難 器 具	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	消 防 用 水	排 煙 設 備	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管	非 常 コ ン セ ン ト 設 備	無 線 通 信 補 助 設 備	小 計	ハ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	ハ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	小 計	合 計					
1	イ	劇場・映画館・観覧場等													1	2																	3			3	
	ロ	公会堂・集会場	2							1						1																		4			4
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等																																			
	ロ	遊技場又はダンスホール								2				1																				3			3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																																			
	ニ	カラオケボックス等																																			
3	イ	待合・料理店等																																			
	ロ	飲食店	2							2						1																		5			5
4		百貨店、マーケット等	3							1				1		3																	8	1	1	9	
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所								2						3																		5			5
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	3											2																				5			5
6	イ	病院		2						1				1																				4			4
	ロ	養護老人ホーム等	6	3				1		6		4	1		5																		26			26	
	ハ	デイサービス	2	7						4			1		1																		15			15	
	ニ	幼稚園																																			
7		小学校、中学校、高校、大学等	1							1						1																	3	3	3	6	
8		図書館・博物館等																																			
9	イ	蒸気・熱気浴場等																																			
	ロ	イ以外の公衆浴場																																			
10		車両の停車場								2																								2			2
11		神社・寺院・教会																																			
12	イ	工場・作業場等	19	3						10						4																		36	2	2	38
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																																			
13	イ	自動車車庫・駐車場等																																			
	ロ	飛行機等格納庫																																			
14		倉庫	10													3																		13			13
15		前各項に該当しない事務場	173	1				1						1		3																		179			179
16	イ	複合用途（特定）	5	2						2				1		3																		13			13
	ロ	複合用途（非特定）	2							2						1																		5			5
16の2		地下街																																			
16の3		準地下街																																			
17		重要文化財等	2	2						2																								6			6
18		アーケード																																			
		計	229	7	14			2		38		5	9		31																		335	6	6	341	

防火対象物定期点検報告制度の状況

令和2年3月31日現在

区 分		市町村別				
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	合 計
該当防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	27	14	7	2	50
	特定一階段該当	2				2
	合 計	29	14	7	2	52
点検報告済防火対象物数	収容人員該当 (特定300人)	15	10	3	1	29
	特定一階段該当	1				1
	合 計	16	10	3	1	30
特例認定済防火対象物	収容人員該当 (特定300人)	4		1	1	6
	特定一階段該当					0
	合 計	4	0	1	1	6

危険物施設の状況

令和2年 3月31日現在

区分		市町村別				合計
		二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	
合計		157	83	59	46	345
製造所						
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	5		2	10
	屋外タンク貯蔵所	9	5	4	6	24
	屋内タンク貯蔵所	1	1		1	3
	地下タンク貯蔵所	51	26	17	7	101
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	44	22	16	12	94
	屋外貯蔵所	1	1			2
	小計	109	60	37	28	234
取扱所	給油取扱所	28	13	16	6	63
		(12)	(4)	(6)	(1)	(23)
	販売取扱所					
	一般取扱所	20	10	6	12	48
小計	48	23	22	18	111	

自主防災組織の状況

令和2年3月31日現在

市町村別 区分		計		二戸市		一戸町		軽米町		九戸村	
		団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
合計		107	17,777	45	9,489	37	6,238	18	1,870	7	180
幼年 消防クラブ	幼稚園	3	206	1	160	1	5			1	41
	保育園	7	270	1	13	3	113	1	47	2	97
	児童館										
	その他										
	小計	10	476	2	173	4	118	1	47	3	138
少年 消防クラブ	小学校	4	54	1	5	2	37			1	12
	中学校										
	地区単位	1	9					1	9		
	その他										
	小計	5	63	1	5	2	37	1	9	1	12
婦人 防火クラブ	市街地	2	199	2	62						
	農山村地域	14	847	4	137	1	10	6	807	3	30
	その他										
	小計	16	1,046	6	199	1	10	6	807	3	30
自主 防災 組織	町内会 自治会	76	16,192	36	9,112	30	6,073	10	1,007		
	その他										
	小計	76	16,192	36	9,112	30	6,073	10	1,007		

通信施設等の状況

令和2年4月1日現在

通 信 施 設 等 名			計	設 置 場 所						
消 防 救 急 業 務 用 無 線 局	デ ジ タ ル	固定局（多重）	2	消防本部、折爪						
		基 地 局	基地局	1	折爪					
			簡易基地局	1	奥中山					
				計	消防本部	二戸消防署	一戸分署	軽米分署	浄法寺分署	九戸分署
	無 線	移 動 局	車 載 型	29	10	6	4	3	3	3
			卓 上 型	6	1	1	1	1	1	1
			可 搬 型	7	1	2	1	1	1	1
			携 帯 型	37	3	9	7	6	6	6
	受 令 機			8	3	1	1	1	1	1
	署活動系（400MHz帯）			115	16	33	19	16	15	16
防災相互波（150MHz帯）			2	2						
市 防 無	町 行 政 線	村 放 送 設 備 (サイレン吹鳴可)	5		1	1	1	1	1	
報知専用電話回線（固定119番）			4	4						
"（携帯119番）			4	4						
一 般 加 入 電 話	電 話 回 線 数		61	28	9	6	6	6	6	
	うちFAX回線		9	4	1	1	1	1	1	
	内 線 数	庁 舎 分	93	30	27	9	9	9	9	
		構 内 P H S	8	4	4					
直 通 電 話	回 線 数	市 役 所 ・ 役 場	4		1		1	1	1	
		東日本高速道路	1	1						
携 帯 電 話	携 帯 電 話 数		14	2	4	2	2	2	2	
	うち救急車積載携帯電話		5		1	1	1	1	1	
衛 星 携 帯 電 話	衛 星 携 帯 電 話 数		19	5	2	3	3	3	3	
	うち救急車積載携帯電話		5		1	1	1	1	1	
庁 内 放 送 装 置			5		1	1	1	1	1	

消防車両等の現有状況

令和2年4月1現在

	車両名	車両番号	車名	登録年月	登録年月日	経過	定員	排気量	艀装業者名	無線名称	備考
	司令車	岩手800 す2258	トヨタ カルディナ	H19.3	H19.3.1	13年1ヵ月	5	1,990		二戸司令1	
	人員輸送車	岩手800 す7730	トヨタ ハイエース	H24.12	H24.12.20	7年3ヵ月	14	2,690		二戸輸送1	
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手800 は・208	日野 レンジャー	H12.1	H12.1.25	20年2ヵ月	6	7,960	日本機械	二戸タンク2	水2,000ℓ (予備車)
	屈折梯子車	岩手88 ゆ1370	日野 レンジャー	H8.3	H8.3.1	24年1ヵ月	6	7,960	日本機械	二戸はしご1	20m級
	救助工作車	岩手830 さ1312	日野 レンジャー	H25.12	H25.12.16	6年3ヵ月	6	6,400	テイセン	二戸救助1	II型、4WD
	資機材搬送車	岩手800 さ3383	いすゞ エルフ	H12.5	H12.5.23	19年10ヵ月	3	4,980		二戸搬送1	4WD パワーゲート
	無線中継車	岩手800 す9898	トヨタ ハイエース	H27.8	H27.8.28	4年7ヵ月	5	2,690	オートワークス 京都	二戸指揮1	4WD
	消防ポンプ付大型水槽車	岩手830 さ1803	日野 プロフィア	H30.3	H30.3.20	2年0ヵ月	3	8,860	日本機械	二戸水槽	水10,000ℓ 後輪2軸駆動
	高規格救急自動車	岩手830 ふ・119	トヨタ グランビア	H16.12	H16.12.9	15年3ヵ月	7	3,370	テクノクラクト	二戸救急2	4WD、4WS (予備車)
	連絡車	岩手330 す1906	スバル XV	R1.6	R1.6.28	0年9ヵ月	5	1,590			
	軽バス(連絡車)	岩手580 よ・421	ホンダ バモスホビオ	H28.1	H28.1.13	4年2ヵ月	4	650			4WD
二戸消防署	指揮車	岩手830 さ1909	トヨタ ランドクルーザー	R1.9	R1.9.19	0年6ヵ月	5	2,690		二戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1303	日野 レンジャー	H25.3	H25.3.27	7年0ヵ月	6	6,400	日本機械	二戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	消防ポンプ自動車	岩手830 さ1902	日野 デュトロ	H31.2	H31.2.26	1年1ヵ月	5	4,000	日本機械	二戸ポンプ1	4WD 梯子昇降装置、ホースカー、水槽付(水800ℓ)
	高規格救急自動車	岩手830 さ1710	トヨタ ハイエース	H29.10	H29.10.3	2年5ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	二戸救急1	4WD ハイメディック
	資機材搬送車	岩手830 さ・711	トヨタ ハイエース	H19.11	H19.11.27	12年4ヵ月	7	2,690		二戸搬送2	4WD
一戸分署	広報車	岩手800 す2726	日産 エクストレイル	H19.9	H19.9.1	12年7ヵ月	5	1,990		一戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1912	日野 レンジャー	R1.12	R1.12.18	0年3ヵ月	6	5,120	日本機械	一戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD
	消防ポンプ自動車	岩手800 さ4403	三菱 キャンター	H13.1	H13.1.1	19年3ヵ月	6	5,240	日本機械	一戸ポンプ1	4WD
	高規格救急自動車	岩手830 す1311	トヨタ ハイエース	H25.11	H25.11.18	6年4ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	一戸救急1	4WD ハイメディック 緊急消防援助隊登録車両
軽米分署	広報車	岩手800 す3544	日産 エクストレイル	H20.7	H20.7.1	11年9ヵ月	5	2,480		軽米広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 す1311	日野 レンジャー	H25.11	H25.11.18	6年4ヵ月	6	6,400	日本機械	軽米タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 す1601	トヨタ ハイエース	H28.1	H28.1.27	4年2ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	軽米救急1	4WD ハイメディック
浄法寺分署	広報車	岩手800 す4376	日産 エクストレイル	H21.8	H21.8.1	10年8ヵ月	5	2,480		浄法寺広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 さ1611	日野 レンジャー	H28.11	H28.11.18	3年4ヵ月	6	6,400	日本機械	浄法寺タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 す1501	トヨタ ハイエース	H27.1	H27.1.21	5年2ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	浄法寺救急1	4WD ハイメディック
九戸分署	広報車	岩手830 さ1711	トヨタ ランドクルーザー	H29.11	H29.11.28	2年4ヵ月	5	2,690		九戸広報1	4WD
	水槽付消防ポンプ自動車	岩手830 せ1602	日野 レンジャー	H28.2	H28.2.25	4年1ヵ月	6	6,400	日本機械	九戸タンク1	水2,000ℓ A-2 4WD 緊急消防援助隊登録車両
	高規格救急自動車	岩手830 さ1609	トヨタ ハイエース	H28.9	H28.9.23	3年6ヵ月	7	2,690	テクノクラクト	九戸救急1	4WD ハイメディック

火災による損害状況

令和元年中

区分 市町村	出火件数		焼損面積		損害額（建物）			損害額（林野）
	件数	出火率	建物焼損 床面積	林野焼損 面積	総額 （千円）	一件当り （千円）	1世帯当 り（円）	総額（千円）
令和元年	31	5.7	1,388	88	26,312	848.8	1,120.1	0
二戸市	11	4.1	520	0	7,307	664.3	616.7	0
一戸町	7	5.7	483	48	5,371	767.3	943.9	0
軽米町	10	11.0	45	8	3,379	337.9	893.2	0
九戸村	3	5.2	340	32	10,255	3,418.3	4,730.2	0
平成30年	29	5.4	6,627	412	267,334	9,218.4	11,455.9	2,068
平成29年	26	4.8	1,473	21	78,468	2,545.1	2,835.7	86
平成28年	21	3.8	1,161	90	18,898	1,889.8	808.5	2,694
平成27年	46	8.1	4,642	90	235,240	5,113.9	9,995.3	0
平成26年	35	5.9	2,471	146	51,664	1,476.1	2,190.3	1,636
平成25年	36	6.0	3,441	131	84,945	2,359.6	3,601.2	0
平成24年	30	5.0	2,764	286	68,335	2,277.8	2,904.2	3,241
平成23年	25	4.0	1,894	61	55,609	2,224.4	2,376.4	0
平成22年	39	6.3	3,452	17	102,243	4,647.4	16,798.5	61
年平均	31.8	3.3	2,931.3	134.2	98,905	3,694.0	6,015.0	978.6

災害通報等受付件数

令和元年中

内訳 覚知別	火災	救急	救助	その他災害	誤報	通報訓練	その他	計
119番専用 電話（固定）	8	1,492	7	62	78	315	239	2,201
119番専用 電話（携帯）	13	528	24	7	45	11	173	801
一般加入電話	3	204	4	32				243
警察電話	2	29	10	8				49
駆けつけ通報	1	44		3	1		7	56
事後覚知								0
その他	2	26	1	22			44	95
計	29	2,323	46	134	124	326	463	3,445

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。

時間別火災発生状況

令和元年中

区分 出火時間別	市 町 村 別 出 火 件 数					損 害 額 (千円)
	市	二戸市	一戸町	軽米町	九戸村	
計	31	11	7	10	3	26,882
0～2	2		1		1	10,825
2～4	0					0
4～6	1	1				22
6～8	2	1	1			1,699
8～10	3	1	1	1		5,549
10～12	3	1		1	1	1,918
12～14	6	1	2	3		1,468
14～16	6	5		1		3,745
16～18	1				1	0
18～20	0					0
20～22	4		2	2		1,653
22～24	1	1				0
不 明	2			2		3

曜日別出火件数

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
計	7	3	6	2	5	4	3	1
0～2	1			1				
2～4								
4～6							1	
6～8	1	1						
8～10	1		1			1		
10～12					3			
12～14	1	1	2			2		
14～16	2	1	2				1	
16～18					1			
18～20								
20～22	1			1	1	1		
22～24							1	
不 明			1					1

焼損面積300平方メートル以上の建物火災状況（過去10年間）

年別	出火日時	出火場所	出火建物用途	出火原因	焼損棟数	焼損面積(m ²)	損害額(千円)
令和元年	5月23日 10時20分	二戸市(浄法寺町)	住宅	不明	4	331	1,632
	11月22日 9時00分	一戸町	住宅	煙突から火の粉が薫に飛び火し着火したものと推定。	5	414	3,669
平成30年	1月23日 3時40分	一戸町	納屋	木箱の中で燻炭が再燃し着火。そこから建物へ延焼拡大したものと推定。	5	397	3,607
	6月26日 13時20分	二戸市	物置	木の枝などのゴミを焼却中に、行為者がその場を離れたうちに延焼拡大したものと推定。	7	730	8,573
	7月3日 15時40分	二戸市	住宅	配線器具の短絡によって生じた銅粒状の短絡痕が段ボール箱に落下することで着火。そこから周囲の可燃物へ延焼拡大したものの。	5	458	7,467
	7月7日 14時00分	軽米町	住宅	取灰の余熱で周囲の可燃物に着火し、その炎が延焼拡大したものの。	2	602	18,770
	7月16日 1時30分	九戸村	住宅	使用したマッチを完全に消火しないで捨てたため、周囲にあった燃焼物へ着火し、また扇風機の風の力を受け延焼拡大したものの。	1	336	11,511
	10月5日 15時15分	九戸村	養鶏舎	絶縁性能が低下した配線が異極間で短絡。それにより、付近のほこりや壁面の柱に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	513	5,136
平成29年	4月2日 17時30分	一戸町	住宅	仏壇供養の際に使用した、ロウソクの炎が不祝儀袋等に着火し、建物全体へ延焼拡大した。	3	340	21,589
平成28年	1月12日 15時55分	一戸町	養畜舎	ガスストーブが建物北側に倒れ、炎が扉に着火。扉に着火した炎が延焼拡大したものの。	1	497	6,655
平成27年	3月13日 6時15分	軽米町	養畜舎	不明	2	1,064	102,676
	5月8日 15時20分	軽米町	物置	建物の所有者が自ら施工した屋外配線が経年劣化により短絡し、それによって生じた火花から出火及び延焼拡大したものの。	5	500	3,202
	6月25日 23時20分	九戸村	店舗併用住宅	不明	2	461	66,049
平成26年	12月15日 4時00分	一戸町	作業場	電源コード等の劣化による無炎燃焼から有炎燃焼へ移行したものの。	1	391	7,269
平成25年	1月10日 15時30分	一戸町	店舗併用住宅	薪ストーブの取り灰を放置した。	4	593	35,590
	1月21日 16時40分	九戸村	作業場併用住宅	火鉢の炭火がはね、ソファーに着火した。	1	578	6,284
	1月30日 17時00分	二戸市	住宅	不明	1	335	7,309
	5月22日 16時15分	軽米町	おがくず倉庫	ごみ焼きから飛火し、建物へ延焼拡大した。	4	501	7,719
平成24年	1月24日 10時00分	二戸市(浄法寺町)	住宅	薪ストーブの煙突貫通部の低温発火により、貫通部木枠に着火した。	1	320	19,085
	8月5日 14時45分	一戸町	炭小屋	炭窯の排煙口からの火炎を受けたベニヤ板に着火し、延焼拡大した。	3	453	3,244
	10月11日 5時30分	一戸町	パーク倉庫	照明用配線の折れ曲がり箇所で、電線被覆が短絡し、パークに着火した。	1	646	16,014
	10月19日 17時15分	二戸市(浄法寺町)	堆肥舎	鶏糞の発酵発熱により発火した。	1	716	12,703
平成23年	4月20日 7時00分	二戸市(浄法寺町)	物置小屋	薪ストーブの焚き口から火がこぼれ、周囲にあった薪等に着火延焼した。	4	497	14,769
	7月2日 3時00分	一戸町	作業場	不明	4	461	9,563
平成22年	3月11日 19時50分	軽米町	牛舎	不明	1	408	10,065
	3月18日 10時15分	軽米町	豚舎	不明	5	669	4,738
	5月4日 14時00分	一戸町	小屋	不明	2	520	1,931
	12月10日 18時00分	一戸町	鶏糞処理施設	長期間にわたり堆積した有機資材が無炎燃焼を継続し、建物全体へ延焼拡大したものと推定。	1	499	11,021
	12月15日 19時40分	二戸市	住宅	石油ストーブの誤った給油により、ストーブが燃え上がった。その結果周囲にあった衣類に着火し、延焼拡大したものと推定。	1	418	28,330

焼損面積100アール以上の林野火災状況（過去10年間）

平成22年～令和元年

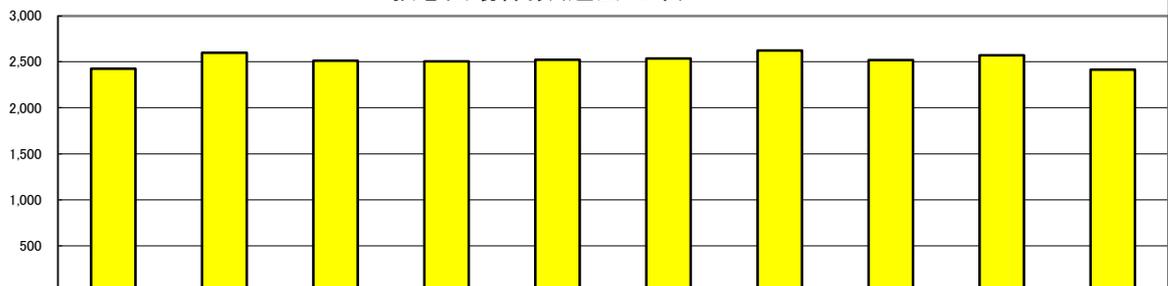
年別	出火日時	出火場所	気象状況				出火原因	焼失面積 (a)	損害額 (千円)
			天候	風向	風速 (m/s)	湿度 (%)			
令和元年中は該当する林野火災はなし									
平成30年	5月16日 10時00分	一戸町字別字 中村48-9	曇	南西	1	44	町道から投げ捨てられたたばこから延焼拡大したものと推定。	412	2,068
平成29年中は該当する林野火災はなし									
平成28年中は該当する林野火災はなし									
平成27年中は該当する林野火災はなし									
平成26年中は該当する林野火災はなし									
平成25年中は該当する林野火災はなし									
平成24年	4月30日 14時40分	二戸市石切所字 上里沢150-2	晴	南南西	3	11	剪定した木の枝を焼却中、付近の枯れ草に燃え移り延焼拡大した	270	3,241
平成23年中は該当する林野火災はなし									
平成22年中は該当する林野火災はなし									

年別救急出場状況

各年1月～12月

種 別 年別	合 計	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他
令和元年	2,415	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	255	0	0	10
平成30年	2,571	10	0	1	138	46	6	333	6	21	1,710	290	1	0	9
平成29年	2,519	15	0	0	145	27	14	327	7	35	1,675	261	0	0	13
平成28年	2,622	6	5	2	142	25	18	349	12	25	1,754	271	0	0	13
平成27年	2,536	10	0	4	143	27	5	329	3	29	1,692	283	0	0	11
平成26年	2,520	5	1	0	128	14	13	315	4	29	1,702	297	0	0	12
平成25年	2,506	10	5	4	135	26	8	324	11	42	1,628	299	1	0	13
平成24年	2,510	8	0	1	141	11	7	282	7	33	1,678	332	2	1	7
平成23年	2,597	10	6	1	131	17	14	336	1	36	1,701	332	0	0	12
平成22年	2,423	6	0	1	143	16	7	289	8	38	1,566	331	2	1	15
平成21年	2,203	5	0	2	146	19	9	263	6	33	1,430	273	1	0	16
平成20年	2,341	4	1	1	138	17	15	259	7	43	1,511	336	1	0	8
平成19年	2,451	10	0	3	182	17	12	264	3	45	1,540	359	4	0	12
平成18年	2,415	4	1	1	165	19	10	287	12	28	1,484	393	3	0	8
平成17年	2,468	5	0	0	160	21	14	280	3	33	1,525	414	4	0	9
平成16年	2,389	2	0	1	191	14	14	284	11	32	1,444	385	0	0	11
平成15年	2,084	7	0	1	171	24	9	200	2	21	1,243	392	0	0	14
平成14年	1,999	10	0	0	153	33	12	234	7	34	1,144	354	0	2	16
平成13年	1,946	4	0	4	182	19	8	205	10	30	1,140	338	0	0	6
平成12年	1,914	0	0	0	171	28	8	199	10	23	1,074	389	0	0	12
平成11年	1,905	2	7	0	182	22	11	203	6	22	1,084	356	1	1	8
平成10年	1,786	0	0	1	194	21	7	172	7	18	1,015	341	1	0	9

救急出場件数(過去10年)



□ 出場件数	2,423	2,597	2,510	2,506	2,520	2,536	2,622	2,519	2,571	2,415
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

救急の月別活動の状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

種別 月	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	0	0	0	8	1	1	28	2	0	146	27	213
2月	0	0	0	11	1	0	19	0	3	143	22	199
3月	0	0	0	13	2	1	29	0	0	125	24	194
4月	0	0	0	12	1	0	27	0	2	111	25	178
5月	0	0	0	8	2	2	19	1	2	148	27	209
6月	0	0	0	15	3	3	22	0	0	108	24	175
7月	0	0	0	10	3	3	34	0	0	150	12	212
8月	0	0	0	16	3	0	45	1	1	146	27	239
9月	0	0	0	7	3	1	20	0	1	119	21	172
10月	0	0	0	9	1	1	23	0	3	136	23	196
11月	1	0	0	14	0	0	25	0	1	155	14	210
12月	0	0	0	20	1	0	28	0	3	147	19	218
計	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	265	2,415

救急出動の曜日別の状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

種別 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月曜日	1	0	0	21	2	0	46	1	3	245	50	369
火曜日	0	0	0	19	2	0	43	0	2	225	59	350
水曜日	0	0	0	18	3	1	40	0	2	254	33	351
木曜日	0	0	0	15	4	2	42	1	3	232	45	344
金曜日	0	0	0	32	6	1	48	0	1	212	36	336
土曜日	0	0	0	23	1	1	61	0	2	229	21	338
日曜日	0	0	0	15	3	7	39	2	3	237	21	327
計	1	0	0	143	21	12	319	4	16	1,634	265	2,415

救急搬送の年代別の状況

平成31年1月1日～令和元年12月31日

年齢区分	事故種類	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
	傷病程度	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	計
新生児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
乳幼児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	5
	中等症	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	5	12
	軽症	0	0	0	4	0	0	6	0	0	21	0	31
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	6	0	0	7	0	0	27	8	48
少年	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	中等症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	6	13
	軽症	0	0	0	4	0	6	10	0	0	22	1	43
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	5	0	6	10	0	0	29	7	57
成人	死亡	0	0	0	2	0	0	2	0	0	7	1	12
	重症	0	0	0	2	4	0	4	0	1	37	27	75
	中等症	0	0	0	8	2	0	15	0	2	62	33	122
	軽症	0	0	0	53	12	6	44	1	0	225	12	353
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	65	18	6	65	1	3	331	73	562
老人	死亡	0	0	0	1	0	0	9	0	5	67	2	84
	重症	0	0	0	5	1	0	19	0	0	209	61	295
	中等症	0	0	0	14	2	0	66	0	2	369	93	546
	軽症	0	0	0	28	1	0	136	2	0	506	9	682
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	48	4	0	230	2	7	1,151	165	1,607
合計	死亡	0	0	0	3	0	0	11	0	5	74	3	96
	重症	0	0	0	8	5	0	23	0	1	248	92	377
	中等症	0	0	0	24	4	0	82	0	4	442	137	693
	軽症	0	0	0	89	13	12	196	3	0	774	22	1,109
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	124	22	12	312	3	10	1,538	254	2,275

高速自動車道における救急活動状況

平成22年～令和元年

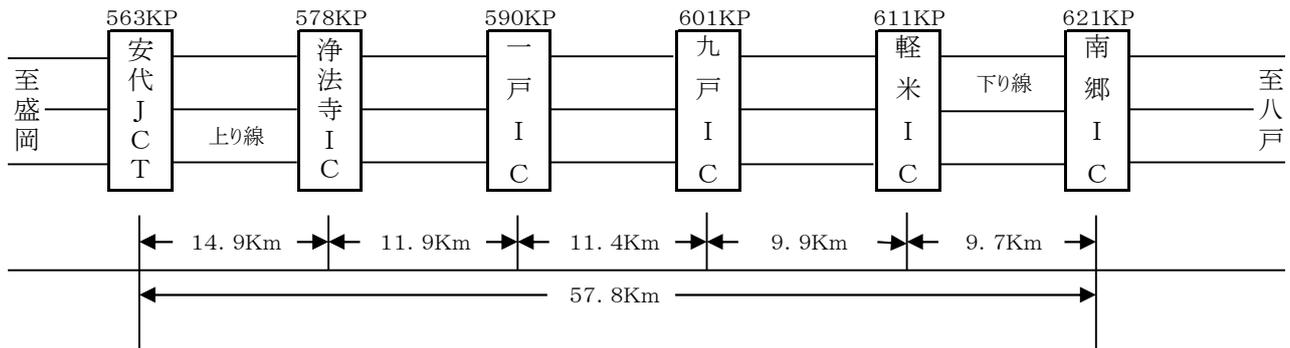
年 度 別	種 別	交 通	急 病	一般負傷	その他	計
平 成 31 年	出 場 件 数	3	2	1	1	7
	搬 送 件 数	3	2	1	1	7
	搬 送 人 員	3	2	1	1	7
平 成 30 年	出 場 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 29 年	出 場 件 数	17	3	0	1	21
	搬 送 件 数	11	3	0	0	14
	搬 送 人 員	13	3	0	0	16
平 成 28 年	出 場 件 数	6	2	0	0	8
	搬 送 件 数	3	1	0	0	4
	搬 送 人 員	3	1	0	0	4
平 成 27 年	出 場 件 数	7	2	0	0	9
	搬 送 件 数	5	1	0	0	6
	搬 送 人 員	7	1	0	0	8
平 成 26 年	出 場 件 数	8	4	0	0	12
	搬 送 件 数	7	3	0	0	10
	搬 送 人 員	8	3	0	0	11
平 成 25 年	出 場 件 数	13	4	1	1	19
	搬 送 件 数	6	4	1	1	12
	搬 送 人 員	6	4	1	1	12
平 成 24 年	出 場 件 数	6	5	0	1	12
	搬 送 件 数	5	5	0	0	10
	搬 送 人 員	5	5	0	0	10
平 成 23 年	出 場 件 数	11	6	0	1	18
	搬 送 件 数	7	6	0	0	13
	搬 送 人 員	9	6	0	0	15
平 成 22 年	出 場 件 数	5	6	0	2	13
	搬 送 件 数	4	5	0	0	9
	搬 送 人 員	8	5	0	0	13

※ 昭和61年11月27日八戸IC～一戸IC間供用開始

※ 平成元年9月7日安代JCT～一戸IC間供用開始

高速道における事故等の発生件数状況

共用開始年月日 昭和61年11月27日(八戸IC～一戸IC)
 共用開始年月日 平成元年9月7日(安代JCT～一戸IC)



令和元年中

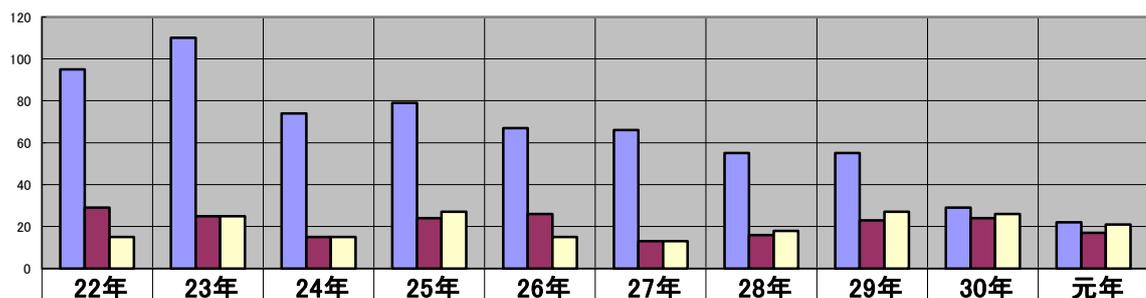
NO	区分	月 日	覚知時間	事故発生場所	出場車両	事故等の概要
1	救急	2月 27日	15:08	九戸IC駐車場	九戸救急	八戸自動車動下り線走行中急に寒気がし、呼吸が苦しくなり九戸IC駐車場に駐車後NEXCO職員に助けを求め通報となったもの。
2	救助	4月 28日	18:30	下り612kp付近	二戸救助 軽米タンク 軽米救急	バイク走行中、居眠りをしてしまい気付いた時には中央分離帯のガードレールに衝突し、転倒したもの。
3	救急	7月 20日	22:15	上り折爪サービスエリア	軽米救急	18時頃から折爪SAにて休憩していた傷病者が、運転席側のドアに右前額部が接触し受傷。隣に停車していた同僚の携帯に電話し助けを求めた。その後出血が止まらないため同僚が救急要請したもの。
4	救急	8月 1日	8:31	一戸料金所付近	一戸救急	八戸自動車動下り線一戸料金所付近の道路舗装工事作業中、全身の脱力、めまい及び両手の痙攣が出現したため同僚が救急要請したもの。
5	救急	11月 3日	21:51	下り二戸パーキングエリア	浄法寺救急	八戸自動車動下り線走行中急にお腹がグルグルし、めまいが出現したため二戸PAに立ち寄る。到着した際受け答えがなくなり全身に冷や汗があったため救急要請となる。
6	その他	12月 28日	13:33	下り578.4kp付近	二戸救助 浄法寺タンク 浄法寺救急	八戸自動車動下り線を走行中の軽自動車が、路面の雪にハンドルを取られて1回転半した後、中央分離帯に衝突。後続の大型トラックが避けきれず軽自動車に接触したもの。
7	救助	12月 28日	17:10	下り604kp付近	二戸救助 九戸タンク 九戸救急	八戸自動車道下り線を走行していた乗用車が、凍結路面のためスリップしガードレールを越えて道路外へ逸脱し、運転手1名が負傷するとともに脱出不能となったものであるが、挟まれ等はなし。

救助年別活動状況（過去10年間）

各年1月～12月

年別	事故種別 区分	計	火災		交通 事故	水難 事故	自風 然水 災害 等	事機 械に よ る 故 る	よ建 る物 事等 故に	酸ガ 欠ス 事及 故び	破 裂 事 故	事そ の 他 の 故
			建 物	建 物 以 外								
令和元年	出場件数	22	2		14	1		2	1			2
	活動件数	17	2		10	1		1	1			2
	救助人員	21	2		14	1		1	1			2
平成30年	出場件数	29	2		15		1	1	4			6
	活動件数	24	2		12		1		3			6
	救助人員	26	2		13		5		2			4
平成29年	出場件数	55	3		35			7				10
	活動件数	24	3		10			4				7
	救助人員	27	3		12			4				8
平成28年	出場件数	55			42	2	5	4				2
	活動件数	16			9		5	1				1
	救助人員	18			9		7	1				1
平成27年	出場件数	66			51	4		3		1		7
	活動件数	13			7	2		1				3
	救助人員	13			7	2		1				3
平成26年	出場件数	67	10	4	42		3		2			6
	活動件数	26	10	4	6		2					4
	救助人員	15	2		7		2					4
平成25年	出場件数	79			63	5	1	1	1	1		7
	活動件数	24			15	6			1	1		1
	救助人員	27			11	7				8		1
平成24年	出場件数	74	3	1	61	1	2		2			4
	活動件数	15	3	1	6	1			2			2
	救助人員	15			10	1			2			2
平成23年	出場件数	110	13	12	63	1	6	2	2			11
	活動件数	25			12	1	4	1	1			6
	救助人員	25			10	1	8	1	1			4
平成22年	出場件数	95	14		69	2		3	1			6
	活動件数	29	14		10	1		2				2
	救助人員	15			10	1		2				2

救助活動状況（過去10年）



■ 出場件数	95	110	74	79	67	66	55	55	29	22
■ 活動件数	29	25	15	24	26	13	16	23	24	17
□ 救助人員	15	25	15	27	15	13	18	27	26	21

署・分署別救助活動状況

令和元年

事故種別 署分署別		計	火	災	交	水	自	風	事	機	事	建	酸	ガ	破	そ
			建	建												
			物	物	事	難	然	水	害	械	等	に	事	及	裂	の
			外	以	故	事	害	害	等	に	よ	よ	事	故	事	事
計	出場件数	22	2		14	1				2	1					2
	活動件数	17	2		10	1				1	1					2
	救助人員	21	2		14	1				1	1					2
二戸 消防 署	出場件数	4	1							1	1					1
	活動件数	4	1							1	1					1
	救助人員	4	1							1	1					1
一戸 分 署	出場件数	8			5	1				1						1
	活動件数	4			2	1										1
	救助人員	6			4	1										1
軽 米 分 署	出場件数	7	1		6											
	活動件数	6	1		5											
	救助人員	7	1		6											
浄 法 寺 分 署	出場件数	1			1											
	活動件数	1			1											
	救助人員	1			1											
九 戸 分 署	出場件数	2			2											
	活動件数	2			2											
	救助人員	3			3											

事故発生場所別救助状況

令和元年

事故発生場所		事故種別	計	火災		交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等に	ガス欠事及び	破裂事故	その他の事故	
				建物	建物以外										
計		出場件数	22	2		14	1			2	1			2	
		活動件数	17	2		10	1			1	1			2	
		救助人員	21	2		14	1			1	1			2	
屋 内	住居	出場件数	3	1							1			1	
		活動件数	3	1							1			1	
		救助人員	3	1							1			1	
	その他の屋内	出場件数	2	1						1					
		活動件数	1	1											
		救助人員	1	1											
屋 外	道	高速自動車道	出場件数	2		2									
			活動件数	1		1									
			救助人員	1		1									
	路	その他の路	出場件数	12		11								1	
			活動件数	10		9								1	
			救助人員	14		13								1	
	水 面	内水面	出場件数	1			1								
			活動件数	1			1								
			救助人員	1			1								
		外水面	出場件数												
			活動件数												
			救助人員												
山 岳	山岳	出場件数													
		活動件数													
		救助人員													
	その他の屋外	出場件数	2		1					1					
		活動件数	1							1					
		救助人員	1							1					
地 下	出場件数														
	活動件数														
	救助人員														
そ の 他	出場件数														
	活動件数														
	救助人員														

署・分署別救助出動人員状況

令和元年

事故種別 署分署別		計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	災 害 以 外									
計	救 助 隊	69	6		45	4			8	3			3
	消 防 隊	58	10		40	3			3				2
	救 急 隊	88			70	3			6	3			6
二 戸 消 防 署	救 助 隊	14	3						5	3			3
	消 防 隊	4	4										
	救 急 隊	9							3	3			3
一 戸 分 署	救 助 隊	23			16	4			3				
	消 防 隊	26			18	3			3				2
	救 急 隊	43			34	3			3				3
軽 米 分 署	救 助 隊	23	3		20								
	消 防 隊	18	6		12								
	救 急 隊	24			24								
浄 法 寺 分 署	救 助 隊	3			3								
	消 防 隊	4			4								
	救 急 隊	3			3								
九 戸 分 署	救 助 隊	6			6								
	消 防 隊	6			6								
	救 急 隊	9			9								

※各分署の救助隊にあつては二戸救助隊のものである。

署・分署別救助活動人員状況

令和元年

事故種別 署分署別		計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 事 故 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	災 建 物 以 外										
計	救 助 隊	40	6		19	4			5	3				3
	消 防 隊	35	8		25									2
	救 急 隊	46			34				3	3				6
二 戸 消 防 署	救 助 隊	14	3						5	3				3
	消 防 隊	4	4											
	救 急 隊	9							3	3				3
一 戸 分 署	救 助 隊	10			6	4								
	消 防 隊	7			5									2
	救 急 隊	10			7									3
軽 米 分 署	救 助 隊	10	3		7									
	消 防 隊	14	4		10									
	救 急 隊	15			15									
浄 法 寺 分 署	救 助 隊	3			3									
	消 防 隊	4			4									
	救 急 隊	3			3									
九 戸 分 署	救 助 隊	3			3									
	消 防 隊	6			6									
	救 急 隊	9			9									

※各分署の救助隊にあつては二戸救助隊のものである。